

# 戶籍法改正法律案件外三 特別委員會會議事速記録第一號

付託議案

戶籍法改正法律案

明治三十八年法律第六十二號中改正法律案

寄留法案

明治四十三年法律第三十九號中改正法律案

委員氏名

委員長

侯爵德川 賴倫君

副委員長

松岡 康毅君

委員

伯爵寺島誠一郎君

子爵岡部 長職君

子爵酒井 忠亮君

山脇 玄君

男爵久保田 讓君

河村讓三郎君

男爵藤堂 憲丸君

奧山 政敬君

富井 政章君

加太 邦憲君

安廣伴 一郎君

馬屋原 二郎君

田島竹之助君

大正三年三月十七日(火曜日)午前十時二十分開會

○副委員長(松岡康毅君)

是ヨリ戶籍法改正法律案ノ委員會ヲ開キマスル、委員

長德川侯爵ハ差支ガアリマシテ私ガ代テ致シマス

○奧山政敬君 是ハ今御宣言ニナリマシタガ、外二件トモデゴザイマセウナ

○副委員長(松岡康毅君) 外二件トモデゴザイマス、就キマシテハ皆様御相談イタシ

マスガ、大分長イ條章ノアル法律デアリマシテ、會議ノ餘日モ少イ際デアリマスカラ、極ク

大要メケラ司法大臣ニ御説明ヲ承ケ、其後ハ逐條ノ所ナドハ、新舊ノ關係ナドハ政府

委員カラ、其場所々々御説明ヲ承レバ便宜カト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副委員長(松岡康毅君) ツレデハ司法大臣ニ願ヒマス

○國務大臣(奧田義人君) 戶籍法改正法律案外三件ハ、昨日日本會議ノ議題ニ上

ボリマシタ法案デアリマシテ、其節私ヨリ提出ノ理由ニ付キマシテ一言ヲ致シテ置キマシ

タノデアリマスル、今日ハ又重ネテ茲ニ一通リ述ベテ置キタト考ヘマスノデ、第一ニ戶籍

法改正法律案ハ昨日モ述ベマシタ通り、全體ニ互ッテ改正ヲ施シテ居リマス、即チ全

部ノ改正デアリマスル、全部ノ改正デアリマスルケレドモ、大部分ハ戶籍事務ノ簡捷ヲ

圖リマスルガ爲ニ、或ハ手續ヲ省略イタシマシタリ、或ハ又現行法ニ於テ不備ナ點モ多

少補ヒマシテ、或ハ又法文ノ其當ヲ得ヌ所ヲ直シタイト云フヤウナ事柄デアリマシテ、

主義ニ於テ變テ居ル所ハ、先ツ無イト申シテ宜シノデアリマス、唯一ツ主義上ニ於テ

變テ居リマスル點ハ、現行法ニ存在ヲ致シテ居リマスル所ノ、身分登記簿ヲ廢シテシマ

ヒマシテ、サウシテ戶籍簿 戶簿一ツニシテシマヒマス、此點ガ先ヅ主義上ニ於テ唯一ツ

變テ點デアルト申シテ差支ハナイト考ヘマスル、全體此現行戶籍法ヲ調査ヲ致シマシタ

時ニ於テ、決シテ粗漏ノ調査ヲシタ譯デハナイ、出來ルダケハ慎重ニ審議ヲ致シマシテ編

製ヲシタノデアリマスルケレドモ、今日ヨリ之ヲ考ヘテ見マスルト云フト、ドウモ少シ理論ニ

趨リ過ギテ、サウシテ實際上ノコトニ少シ顧ミナカッタ云フヤウナ嫌ガアッタト申シテモ、

先ヅ差支ハ無イカト私ハ考ヘマスルノデアリマス、如何ニモ此人ノ身分ニ關シマスルコト

ト、戶籍ニ關シマスルコトト、原則トシテハ現在別々ノコトデアアル、理論上カラ申シマスル

ト云フト、身分登記ノコト、戶籍ノコト云フノハ別々ニシテ、之ヲ證明イタシマスル所ノ

帳簿モ、亦別ニ編製スルト云フノガ本當デアラウト思フノデアリマス、併ナガラ我國ハ申ス

迄モナク、家族制度ガ社會組織ノ基本ニナッテ居リマスルカラシテ、一面ニ於テドウシテモ

戶籍課ト云フモノガナクテハナリマセヌ、歐洲諸國ニ於ケルガ如キ身分證書ノミニ依ッテ、

ソレデ總テ人ノ身分上ノコトヲ證明シ得ルト云フダケハ濟ミマセヌ、ドウシテモ家ノ組織、

又其家ヲ組織シテ居リマスル所ノ家族ノ主ノ關係等モ證明ヲシ得ルヤウナ、別段ニ戶

籍ト云フモノガナクテハナラヌノデアリマス、然ルニ戶籍ヲ編製イタシマスルノニハ、多クハ

人ノ身分上ノコトヲ矢張り登錄ヲ致シマセヌト云フト、完全ナル戶籍ヲ得ルコトハ出來マ

セヌ、ソコデ是マデ身分登記簿ニ登錄ヲ致シマスル事柄ヲモ、多クハ又戶籍簿ニ登錄ヲ

シテ居リマスル、身分登記簿ノミニ登錄イタシマスル事柄ハ寧ロ少イト言ッテモ宜シヤウ

ナ譯デアリマスル、ソコノ實際上ノコトヲ尙ホ一層十分ニ考ヘマシテ、而シテ法律ヲ編制

ヲ致シマシタノデアリマシタナラバ、今日斯ノ如キ主義上ニ於ケル改正ヲ施ス必要モ無カ

タコトデアラウト信ジマスルケレドモ、其當時ニ於キマシテハ思ヒ其處マデ至リマセナンダノ

ハ、今更甚ダ遺憾ナコトデアルト考ヘマス、爾來實地ノ經驗ニ付イテ之ヲ見マスルノニ、

ドウモ此身分登記簿ノ實用ガ甚ダ少イノデアリマス、一般社會ノ人竝ニ官公署等ニ

於キマシテモ、之ヲ利用スルコトハ甚ダ少イ、之ニ反シテ戶籍ノ方ハ一般ニ利用ヲ致シマ

スル場合ト云フモノハ甚ダ多イノデアッテ、人ノ身分上ノコトハ概ネ戶籍ニ就イテ見マスレバ

先ヅ分ルノデアリマスル、然ルニ左様ニ實用ノ少イ所ノ身分登記簿ヲ依然トシテ設ケセシメ

テ置ク、斯ウ云フコトニナリマスルコト云フト、手數ガ掛ルバカリデアリマセヌ、之ニ伴フ所ノ費

用モ少カラヌコトデアリマスル、昨日モ述ベテ置キマシタ通り、此登記簿ハ永久ニ保存ヲ致

スモノデアリマスニ依ッテ現在保藏ヲシテ居リマスル所ノ倉庫ハ狹隘ヲ告ゲマシテ、之ヲ

増築シナケレバナラヌト云フ狀況ニ差迫ッテ居ル所モダン、在リマスルシ、又年ヲ逐フニ

從ッテ、ドウシテモ此倉庫ヲ増築シナケレバナラヌ狀況ニ陥ルコトハ目ニ見エテ居ルノデア

リマスル、ソレ故ニ此實用ノ少イ所ノ身分登記簿ヲ改正案ニ於テハ廢シテ、ソレデ戶籍

ノ方ニ人ノ身分ニ關スルコトモ一切登錄ヲスルヤウニシテ、茲ニ簡便ヲ圖ルト云フヤウニ

致シタイノデアリマス、而シテ此改正ニ基キマシテ、何ホド手數ガ減ジ、何ホド費用ガ節

約ニナルカト云フコトハ、ドウモハッキリシタ計算ヲ立テルコトガ出來得マセヌノデゴザイマス

ルケレドモ、先ヅ一通リ考ヘテ見マシタ所デハ、先ヅ第一ニハ此帳簿編製ヲシマスルニ付

イテノ用紙モ少カラヌ費用ヲ要シマスルシ、又帳簿ニ登記ヲ致シマスルニ付イテハ相當ナ

ル所ノ人モ要シナケレバナリマセヌ、ソレカラ之ヲ之ヲ保藏ヲ致シマスルニ付イテハ倉庫モ

必要アルトカ、斯ウ云フヤウナコトニナルモデアリマスルカラ、今此改正案が實施ニナルト云フコトニナリマスレバ、此倉庫ノ増築モ要シナイコトニナリ、又帳簿ヲ編製シマスルノニ用紙モ必要ニナリ、延イテ又市町村役場等ニ於テモ十分ニ此整理ヲ致シマスレバ、恐クハ多少ノ人ヲ減ズルコトガ出來ルデアラウ、斯様ニ考ヘテ居リマスルノデ、其節約ノ金額ノ計算ヲ仕出スコトガ出來得マセヌハ甚ダ遺憾ト致シマスルケレドモ、先ヅ大體カラ見マシテ、今御話シマシタヤウナ利益ガアツテ、而シテ他方ニ於キマシテ、矢張り人ノ身分ニ關スルコトハ戸籍ニ依ッテ以テ之ヲ證明スルコトガ出來得ルモノデアリマスルカラ、敢テ是ニ依ッテ以テ不便ヲ感ジ、是ニ依ッテ以テ害ヲ生ズルヤウナコトガナイト云フ見込ヲ以テマシテ、趣意上ニ斯ノ如キ變更ヲ加ヘルコトニ致シタ次第デアリマス、其他ノ事柄ハ先刻モ述ベマシタ通りニ、多クハ唯事務ノ簡捷ヲ圖リ、或ハ又字句其他ノ點ニ改正ヲ加ヘマシタニ過ギマセヌノデゴザイマス、續イテ寄留法案ノコトニ付イテ一言ヲ致シテ置キマス、此寄留ニ關シマスル規定ハ明治四年ニ定メラシマシタ極ク簡單……實ニ不完全ナルモノガアリマシテ、ソレガ現行ノ戸籍法ニ於テ矢張り效力ヲ有スルモノトナッテ居リマス、確カ二百一十一條デアリマシタカ、二條デアリマシタカ……ソレヲ寄留ニ關スル手續ハ總テ其明治四年ニ定メラシマシテ、其不完全ナル規定ニ今日モ據ッテ居ルデアリマス、然ルニ今同現行ノ戸籍法ハ即チ廢止ニ屬シマシタヒマス、其廢止ニ屬シタ戸籍法ノ一箇條ノ中ニ、今ノ明治四年ニ定メラシタ所ノ不完全ナル寄留ニ關スル規定ニ效力ヲ有セシムル其箇條が存在イタシテ居ルノデゴザイマス、ソレ故ニ現行ノ戸籍法ノ全部ガ廢止ニナリマシテ、改正法律案ノ中ニモ寄留ニ關スルコトガ書イテナク全ク別ナコトニシテアリマスノデ、茲ニ別段ノ寄留法案ト云フモノヲ編製イタシマシテ、サウシテ提出スルノ必要ヲ認メマシタノデゴザイマス、固ヨリ寄留ニ關シマスル事柄ニ付イテハ完全ナルコトヲ望ミマスレバ、總テ法律ノ中ニ細ミマシコトヲ、スツカリ書キ立テマスルノガ、或ハ本當デアリマスカモ知レマセヌケレドモ、是ハ複雑ニ互ルコトデアリマスルシ、又戸籍トハ違ヒマシテ寄留ノコトハ幾分カ輕イコトデアリマスルカラシテ、總テ寄留ニ關スル居出ノコト、居出義務者、寄留簿其他寄留ニ關スル事項ノ必要ナルコトハ、命令ヲ以テ定メルト云フコトニ致シマシタノデゴザイマス、ソレカラ其次ニハ此三十八年法律第六十二號中ノ改正法律案ノコトデアリマス、是ハ戸籍法ノ改正ニ伴ヒマシテ、唯、此法律ノ中ニ在リマスル例ヘバ「戸籍吏」トアリマシタモノヲ、之ヲ「市町村長」ト改メマシテ、或ハ又「一家創立地」トアリマシタモノヲ「一家創立ノ場所」ニ改メマシタト云フヤウナ、主トシテ文字上ノ改正ヲ加ヘマシタニ過ギマセヌノデゴザイマス、全ク戸籍法ノ改正ニ伴フ結果ニ過ギマセヌ、其次ニ四十二年法律第三十九號中ノ改正法律案モ亦同様ノコトデアリマシテ、矢張り戸籍法ノ改正ニ伴ヒマシテ、從來「戸籍吏」トアリマシタモノヲ「市町村長」ニ改メ、或ハ又「一家創立地」トアリマシタモノヲ「一家創立ノ場所」ト改メマシタト云フヤウナ、唯文字上ノ改正ニ過ギヌノデゴザイマス、以上ハ誠ニ大體ノコトデアリマスルケレドモ、皆サニ於カセラレマシテハ、總テ御承知ノコトデアリマスルカラシテ、最早此以上詳シキニ互ッテ申上ゲル必要ハナイト思ヒマス、尙ホ又御質問ニ應ジマシテ私ナリ、或ハ政府委員ヨリ御答イタスコトニ致シマス

○政府委員(小山溫君) 戸籍法ノ微細ニ互ル點モゴザイマシテ、司法省ノ山内參事官ハ是ハ專門デゴザイマシテ、政府委員デハゴザイマセヌガ、此委員會ニ列席シテ答辯スルコトヲ御許シテ願ヒタイ

○副委員長(松岡康毅君) 皆サン如何デゴザイマス

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○山脇玄君 私ハチヨット政府委員ニ御尋申シタイデアリマス、是ハ昨日司法大臣ノ仰セラレタモノデ、大分條數モアルモノデアリマスシ、會期モ殆ド一週間クラ井ナモノデ、ナカノ是ハ精細ニ調べルト云フコトニナリマス、連モ日數ガ足ラナイイダラウト思フ、併シ此法律ノ成立チハ、此法律ハ司法省デ出來テ、サウシテ唯今設ケタル所ノ法律委員ナドニオ掛ケニナツテ、其方デ詳細ニ御調ベニナツタモノデアリマス、ソレカラ衆議院ヘ御出シニナツタノハイツ頃デアリ、衆議院デ議了シタノハイツ頃デアルト云フヤウナコトノ御話ヲ承リマシタナラバ、或ハ是ハドウシテモ此議會ニ成立セル必要ガアリマスレバ、又其考デアラナケレバナリマセズ、是マデ現行法デ濟ンデ居タカラ、先ヅ一年位延ベタ所デ、大シタ不都合モ無イト云フコトデアリマスレバ、其考デ……大體ニ付イテ考テ定メル上ニ參考ニナリマスカラ、其邊ノ道行ヲ政府委員カラ御説明ヲ願ヒタイ

○政府委員(小山溫君) 此戸籍法ハ現在設ケテ居リマスル法律取調委員ノ議ヲ經マシタノデス、ソレカラ提出イタシマシタノハ、本年二月十六日デ、衆議院ノ委員會ノ濟ミマシタノハ二月九日デ、ソレカラ一日モ早イガ良イト申シマスノハ、モウ本年ノ身分登記簿ハ簿冊ハ出來テ居リマスルガ、來年ノ簿冊ト云フモノヲソノノ用意ニ掛ル時ニナル、此簿冊ダケデモ年ニハ全國デハ餘程ノ費用ガ掛リマス、成ルベクハ本年議了ニナリマスト云フト、本年カラ手數モ省ケ、ソレカラ簿冊ヲ造ラズニ宜イト云フコトニナリマス

○國務大臣(奥田義人君) 尙ホ唯今ノ御質問ニ對シテ、私ヨリ一言ヲ致シテ置キマスルガ、政府委員ヨリ御答ヲ致シマシタノデ、御解リニナツタハ存ジマスケレドモ、此私ノ承知シテ居ル所ニ依リマスルト云フト、此戸籍簿ノ改正案ハ確カ二年ホド前カラ、ドウシテモ現行法ヲ改正シナケレバナラヌト云フノデ、改正案ノ調査ニ著手ヲ致シマシタ、ソレカラ案ガ成リマシタ後ニ、法律取調委員會ノ議ニ附シマシテ、法律取調委員會又イロイロ議論ガアリマシテ、其結果特別委員ガ又出來マシタ、審査ノ……其特別委員デ更ニ全部ノ調査ヲ仕直シマシテ、ソレカラ特別委員ノ調査ノ結果ヲ改メテ法律取調委員ノ總會ニ掛ケマシテ、サウシテ議決ニナリマシタノデ、サウ云フヤウナ譯デ、ダンクト此慎重ノ上ニ慎重ヲ重ネテ審議ヲ致シマシタモノデアリマスカラ、遂ニ議會ニ提出ヲ致シマスルノモ、先刻政府委員ヨリ述ベマシタヤウニ二月十八日ト云フヤウナエライ遲レタモノトナリマシテ、當局トシテハ甚ダ遺憾ニ存シテ居ル次第デアリマスケレドモ、畢竟慎重ニ審議ヲ致シマシタ結果茲ニ及ビマシタノデ、ドウモ已ムヲ得ナイ次第デアリマス、衆議院デモ委員會ニ於テ種々論ガアリマシテ、何回デアリマシタカ覺エマセヌケレドモ、屢々委員會ガ開カレテ、サウシテ種々ノ質問モアリ、之ニ對シ答辯モ致シテ慎重ニ審議ニナリマシテ決議セラレタノデアリマス、此會期切迫ノ際デアリマシテ、如何ニモ恐縮ニハ存ジマスケレドモ、先刻私ヨリ述ベマシタ通りニ、隨分一般ニハ手數モ掛リ、費用モ掛ル現行法ノコトデアリマスカラ、出來ルコトデアリマスルナラバ、一日モ早ク改正法案ノ實

施ヲ致スヤウニシタイト云フノガ政府ノ望ム所デアリマスルノデ、何卒此議會中ニ協賛ヲ仰グヤウニ致シタイト、切ニ希望ヲ致シマス

○政府委員(小山溫君) 此改正法律ヲ御覽ニナリマスルト、百八十六條ト云フ大部ノモノニナッテ居リマスルガ、改正イタシマスル點ハ前ニ司法大臣ヨリ説明イタサレマシタ通り、身分登記簿ノ廢止ト、ソレカラ戸籍役場ヲ、實際ハ今モ市町村ノゴザイマスガ、戸籍役場ト云フ別名ヲ用ヰズニ、市町村デ取扱フコトニ致シマシタ、是ダケノコトデゴザイマスカラシテ、身分登記簿ノコトハ戸籍ノ全部ニ互リマスカラ、全部ニ改正ニナリマシタガ、其實、條文カラ申シマスルト、同ジ意味ノ條文等ガ多ウゴザイマス、改正ニナリマシタ點ハ少ナウゴザイマス、身分登記簿ニ關聯シマスル點ト、ソレカラ戸籍役場トアルノヲ……戸籍吏ヲ市町村長ト斯ウ改メマシタノガ、重モノデアリマシテ、後ハ字句ノ修正ニ過ギナイ、ソレデハナゼ全部改メタカト申シマスレバ、身分登記簿皆戸籍ニ入レテ行キマスカラシテ、ソレガ爲ニ現行ノ戸籍ハ身分登記ト戸籍簿ト兩方ニ分カレテ居リマシタモノヲ一緒ニ致シマシタカラ、條文ハ皆配列ヲ仕替ヘナケレバナラヌト云フ、斯ウ云フコトニナリマシテ、全部ニ互リマスヤウニナリマシタガ、其實皆改正イタシマシタ譯デアザイマセヌ

○富井政章君 御質問ガ無イヤウデアザイマスカラ、私モ全體ニ互ルコトニ付イテ伺ヒタイノデスカ、其前ニ一ツ希望ヲ述ベタイ、ソレハ唯今山脇君ノ御述べニナッタコトデアリマシテ、私モ御同感デアリマス、斯ウ云フ浩瀚ナ法律案ハ成ルベクモット早クニ提出シテ欲シイト思フデアリマスガ、マア私ハ此案ノ全部ヲ通シテ格別不都合ナ所ハ無イト思フデアリマスケレドモ、免モ角ニ一般ノ人民ガ毎日ノヤウニ適用ヲ受ケル事柄ヲ規定シテ居ル、サウシテ條數ハ凡ソ百九十條モアル、大部ナ法律案デアル、會期今僅ニ一週間シカ殘ッテ居ナイデアリマス、精密ニ調査スルト云フコトハ餘ホド困難デアラウト思ヒマス、大體上ヨリ決メルト云フコトニ勢ヒナラナケレバナラヌト思ヒマスガ、其點ハ甚ダ遺憾ニ思フデアリマス、承ル所ニ依レバ此法律案ハチャント出來テカラ、ナンデモ二三週間程モ法政局アタリテ止マッテ居タツト云フコトデアリマスガ、ト云フコトデ大分提出ガ遅レタモノデナイカト察スルデアリマスガ、ドウカ將來ハ斯ウ云フ大部ノ法律案、而カモ一般人民ノ利害ニ大關係ヲ有スル所ノ法律案ハ、出來ルダケ早ク提出ニナルコトヲ希望イタシマス、ソレカラ私ノ伺ヒタイト思ッタコトハ、今チヨット政府委員ガソレニ對シテ答辯ニナルヤウナコトヲ御話シニナリマシタガ、此法律案ノ要點ハ先刻司法大臣ガ述べラレマシタ通りニ、身分登記簿ヲ廢スルト云フコトデアリマス、ソレガ最モ重大ナル點デ、他ノ點ハ細カナコトバカリデアルト、私ハ見ルデアリマス、身分登記ヲ廢スルト云フ改正ヲ行フ序ニシタト云フ譯デアリマスマイケレドモ、餘ホド小サナ規程デ、中ニハ文字ノ修正ニ止マル所モ少クナイ、身分登記ノ廢止ト云フコトニ牽連シテ改正セバナラヌヤウナ數ハ、ソナニ多クハ無イ、極メテ少イト思フ、極メテ少イ條數ヲ改正スレバ濟ムコトデアラウト思フ、外ノ點ニ於テ條文ヲ改正セラレテ、幾ラカハ良クナッテ居ルト云フコトヲ私モ認メルデアリマス、確ニ現行法ヨリモ良クナッテ居ル、併ナガラ一般ノ人民、殊ニ戸籍事務ヲ扱フ吏員ハ、現行法ノ條文及其適用ニハ慣レテ來テ居ルデアリマス、今日格別著シイ必要ノ無イノニ、或ル細カナ點ガ變ッテ、單ニ文字ガ變タツト云フヤウナコトカラシテ、イロク

ノ感ヲ起スヤウナコトハ無イカ、實質ガ變ッテ……今此實質ガ變タツト思ッテ、事務ノ扱方ヲ取違ヘルトカ、ソレガ爲ニ人民ニ迷惑ヲ感ゼシムルト云フヤウナコトハ無イカ、戸籍事務ヲ扱フ役人ト云フ者ハ實際低イ役人デ、僅ナ給料ヲ取ッテ居ル雇ノヤウナ者ガ實際扱フノダラウト思フ、斯ウ云フ人ハ法律ノ筋道ナドハ能ク分ラナイ、格別變タツト云フホドノコトデモ無イノニ、大層變タツト思ッテ間違ッタ適用ヲスルト云フヤウナコトハナイカ、寧ロ身分登記ヲ廢スルト云フコトニ止メテ、其結果トシテ比較的少イ條文ヲ改正スル位ニシテ置テ、エライ必要ガ無ケレバ成ルベク現行法ニ手ヲ著ケナイト云フ方ガ宜クハナイデアラウカト云フヤウナ……確信デハナイ、サウ云フ疑ヒモ起ルデアリマス、其邊ニ付イテハ政府ハドウ云フ意見ヲ有ッテ居ラル、ノデアルカ、今申シタヤウナ、斯ウ云フ所ハ變タツトデアルカ、ドウカ、斯ウ云フ點ハドウ云フ意味デアルカト云フヤウナコトニ付イテ、是カラ始終司法省ニ伺案ガ出ルト云フヤウナ煩ハシイ結果ヲ生ズルコトハナイカ、サウ云フ點ヲ私ハ多少心配スルノデ、能ク分ラナイデアリマスガ、詰リ此人等ニ互ッテ改正スル利害得失、身分登記ヲ廢スルト云フコトハ至極贊成デアルガ、併シソレニ關聯シテ、ドウシテモ改正セバナラヌト云フ條文ノ數ハ少イ、ソレニモ拘ラズ、少シデモ其クスルト云フコトニ付イテ、此全部ニ互ッテ文字ナドモ出來ルダケ改メルト云フ方法ヲ採ラレタノハ、果シテ必要デアルノカ、其外成ルベク現行法ノ儘ニシテ戸籍事務ヲ取扱上ニ間違ヒガ生ズルコトヲ防グヨリモ宜イト云フ御考デアルノカ、ソレトモ私ノ申シタヤウナ心配ハ決シテ無イト云フ御考デアルカ、私ハ決シテ反對ノ趣意ヲ以テ云フノデハ無イデアリマス、唯サウ云フ全體ニ互ッテ點ニ付イテ、今一應委シク政府ノ御意見ヲ伺ヒタイ

○政府委員(小山溫君) 唯今富井君サシヨリ仰シヤリマシタコトハ、誠ニ御尤モナコトデアザリマシテ、戸籍吏ト申シマシタ所ガ、市町村ノ雇等デアザイマシテ、今マテ慣レテ居リマスモノヲ變ヘルト云フコトニナリマスルト云フト、幾分ノ疑義ヲ生ズルト云フヤウナコトハ、ソレハ免レ難イト存シマスガ、初メハ司法省デモソレヲ慮リマシテ、條文ヲ皆書キマセズニ、改メラケテ改メテ書イテ見タ、サウ致シマスルト、各條ニ第何條ヲ第何條ニ改メルト云フコトヲ、全體ニヤラナケレバナラヌセズ、ソレカラ戸籍役場トアルヲ市町村ニ改ムト云フ風ニ配列シテ見マスルト、却ッテ分ラナイヤウナ法律案ガ出來上ガルノデ、ソレデハ却ッテ戸籍吏……即チ改正法ニ依リマスルト、市町村ノ吏員ノ感ヲ生ゼシムル虞ガアルト云フノデ、一目ニ分ラユウニ改正ヲ致シマシタ、サウシテ此多クハ條文ガ殆ド其儘ニ殘ッテ居リマシテ、僅ナ修正ニ過ギナイデアリマスガ、是ハ知識ノ少イ市町村吏員デアリマスカラ、幾分カ疑義ヲ生ズルト云フコトハ、或ハ免レナイト存シマス、ソレカラ身分登記ノ廢止ト云フコトニ付イテハ、是ハ多年戸籍ヲ取扱ッテ居リマス者カラモ、始終希望シテ參ッテ居リマスシ、ソレカラ改正イタシマシタ點ニ付イテモ、戸籍ヲ扱ッテ居リマス者カラ希望ヲ述ベマシタ箇條モ多イデアリマス、此現行戸籍法ガ實施サレマシテ、此身分登記ト云フモノガ新ニ設ケラレマシタ時ノヤウナ混雜ハ決シテ生ズマイト思ヒマス、實ヲ申シマスト、戸籍法ハ日本舊來ノモノデアリマシテ、身分登記ノ方ハ、是ハ外國カラ傳來ノ方デアリマシテ、戸籍法ノ方ハ非常ニ慣レテ居リマスガ、身分登記ノ方ニ寧ロ疑義ガ多カッタ位デアリマシテ、今尙ホ質問等ハ免レマセヌガ、身分登記ノ方ガ廢マリマスルト云フト、其方ノコトハ無クナッテシマヒマスカラ、現行戸籍法實施ノ際ノヤウナ混雜ハ生ジマイト

存シマス

○副委員長(松岡康毅君) チョット皆サンニ御諮リシマスガ、柳澤伯が何か特ニ質問ヲナサリタイト云フノデゴザイマス、此際御承諾ヲ致シテ御異議ゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○山脇玄君 私ハチョット其前ニ簡單ニ……チョット政府委員ニ御尋シマスガ、此身分登記簿ヲ戸籍吏ガ是カラヤルヤウニナルノデゴザイマスナ、サウスルト町村吏員ト云フモノ事務ガ幾分カ繁劇ニナルヤウニ考ヘマスガ、其邊ノ所ハ如何デゴザイマスナ、今日ノヤウニ身分登記マデモ掌ルト云フコトデ差支ナイノデアリマセウカ、ツレデ今一ツニハチョット身分登記ト今日ノ戸籍登記トノ差デゴザイマス、身分登記ヲ戸籍吏ガスルト云フコトニナルト是ダケノコトヲ戸籍吏ガスルト云フコトニナリマスナ

○政府委員(小山温君) 御答ハ致シマスガ、現在ニ於テハ身分登記モ戸籍モ實ハ市町村吏員ガ取扱シテ居ルノデゴザイマシテ、唯戸籍吏ト名ヲ附ケルダケ、ツレガ身分登記簿ノ方ハ無クナリマスナ、事務ガチョット半分ニナル譯、却ッテ減ル譯デゴザイマス、町村吏員ノ多イ所デハ却ッテ減少ガ出來ルデアラウト存ジマス

○加太邦憲君 政府委員ニチョット御尋イタシマス、是マデ身分登記簿ガ正副二通出來テ、サウシテ戸籍吏ノ手許ト裁判所デ保存ガ出來マシタ、ツレガ今度身分登記簿ガ無クナリマス、サウスルト戸籍簿ガ殘ル、其戸籍簿ガ燒ケデモシタ時ニハ何ニ依ッテツレヲ恢復スルカ、何かツレニ代モノガアリマスノデゴザイマスナ

○政府委員(小山温君) 現行法デゴザイマシテモ、身分登記簿モ二通、一通ヲ裁判所デ保存イタシマス、戸籍ノ方モ副本ノ方ヲ裁判所デ保存イタシマス、改正案ニ於テモ副本ハ裁判所デ保存イタシマス

○加太邦憲君 サウスルト自分登記同様二通、是マデ出來テ居ルノデゴザイマスナ

○政府委員(小山温君) ハイ、副本ヲ裁判所ニ送ルコトニナッテ居リマス

○副委員長(松岡康毅君) 柳澤伯爵、御尋ニナッテ如何デス

○伯爵柳澤保惠君 私ハ細カイ質問デゴザイマスナ、ズット後ニ致シマス

○副委員長(松岡康毅君) ツレデハ宜イ時分ニ仰シヤツテクダサイ

○山脇玄君 富井サンノ質問ノ所デアリマスガ、即チ此身分登記ト云フコトニ止メルト云フコトガ此案ノ改正ノ骨子デアリマスガ、ツレニ付イテハ唯今政府委員ノ申サレルヤウニ、一々此條文ニ舉ゲ、戸籍吏トアッタモノヲ町村吏員トカ何トカ云フヤウニ各條ニ互ッテサウ云フ煩ガアルト云フ御説明デ、ツレハサウデアラウト思ヒマス、ツレデアリマスガ、ドンナモノデアリマセウカ、身分登記ヲ廢スルト云フコトハ、單行法ニ致シマスト云フト、現行ノ戸籍吏デアルノハ、町村吏員ニ當ルトカ云フヤウナ、單行法ニシテ一文ニシテ改正ヲ示スト云フヤウナ改正方法ハ出來ナイモノデアリマス

○政府委員(小山温君) 御答ヲ致シマスガ、ツレガサウ行キマセヌコトハ、現行法ニ依リマス、出生、死亡、婚姻、養主縁組、離婚等ノヤウナ身分ニ變更ヲ生シマスル個人ノ關係ノコトハ、身分登記簿ニ登記ヲシマシテ、身分登記簿カラ例ヘバ養子ヲシマシタ、スルト養子トシテ唯書ク譯デ、其イッノ幾日養子縁組ヲシタト云フ事柄ニ付イテハ一體無イ譯デス、ツレハ身分登記簿ノ方ヲ廢シマスナ、サウ云フ事實ヲ戸籍簿デ證明スル、斯

ウ云フコトニナリマス、ドウモ身分登記簿ノ廢止ギリハ是ガ足りナイ、ツレデ已ムヲ得ズ、斯ウ云フ形ニナリマシタ

○伯爵柳澤保惠君 此場合ニ一ツ伺ヒマスガ、本法ノ施行期日ハ勅令ニ讓ッテゴザイマスガ、是ハ凡ソイツ頃デゴザイマスナ、ツレカラ又施行細則ハ出來テ居リマスナ

○政府委員(小山温君) 施行期日ニ付キマシテハ未ダ確定ハ致シテ居リマセヌガ、前ニ申上ゲマス通り、身分登記簿ヲ年ノ初メニ一年分ノ用意イタシマス、ツレデ今年ノ分ハ最早出來テ居リマス、ツレデゴザイマスナ、ドウシテモ此事務繁劇、ツレカラ經濟ノ方カラ申シマス、遅クモ來年ノ初メカラ施行イタサナケレバナラヌコトニナル、ツレカラ細則ニ付キマシテハ、マダ具體的ノ案ハ出來テ居リマセヌ、事項ダケハ略ホ決メテ居リマスガ、條文ニハマダナッテ居リマセヌ

○子爵酒井忠亮君 此改正案ガ施行ニナルトシマスルト云フト、今日マデノ身分登記簿ハ直チニ廢棄セラレルノデスナ、或ハ或ル期限ハ矢張り保存ニナルノデゴザイマスナ、ツレヲチョット……

○説明員(山内確二郎君) 身分登記簿ヲ今日マデ保存ヲ致シテ居リマスガ爲ニ、甚ダ繁雜デアル次第デゴザイマス、併ナガラ此改正案實施ノ後ニハ、附則ノ所デ身分登記簿モ或ル期間ヲ以テ之ヲ廢棄スルト云フコトニ致シテ居ル、サウシテ其保存期間ハ司法大臣之ヲ定ム、斯ウ云フコトニナッテ居リマスガ、改正ノ法律ガ實施サレテ直チニ之ヲ廢棄スルト云フ譯ニハ至ラナイ、ト申シマスノハ現行ノ戸籍簿ガ舊法ノ下ニ出來テ居リマスルノデ、此戸籍簿ハ新法ノ下ニ出來ル戸籍簿トハ記載ガ餘ホド違ハナケレバナラヌ、其戸籍ノ記載ノ違ッテ居ルコトヲ或ル時期ヲ見テ、例ヘバ町村役場ノ經濟狀況ヲ見テ、身分登記簿ニ基イテ、スッカリ之ヲ書直サセルト云フ方針ヲ採リマシテ、其上或ル相當ノ期間ヲ以テ之ヲ廢棄スルト云フ考デアリマシテ、直チニ廢棄スルト云フコトニハ出來兼ネラダラウト考ヘマス

○富井政章君 先刻述ベマシタコトニ關聯シテ今一ツ伺ヒタイト思ヒマス、寧ロ希望ト云フ方ガ宜シイカモ知レヌ、此法律案ハ現行法ニ比スレバ總テノ點ニ於テ長クナッテ居ルト思フノデアリマス、併ナガラ先刻申上ゲタヤウニ、折角現行法ノ適用ニ慣レテ居ル戸籍事務取扱ニ、種々ノ感ヲ起サユナコトハナイカト思フ、其二ツ比ベテ、斯ウ云フ改正ヲヤッタ方ガ宜イト假定シテ、成ルベク今申上ゲマシタヤウナ弊害ヲ少クスル爲ニ、施行規則ト云フモノハ出來ルダケ親切ニ詳密ニ規定サレテ、其書方ヤ難形等モ一々示シテ、斯ウ云フ風ニシテ書イテ出スノダゾ、ト云フヤウナコトニ成ルベク細密ニ且ツ深切ニ規定シテ、手續法ヲ本旨ヲ貫徹スルヤウニナリタイト思ヒマス、唯今政府委員ノ御説明ニ依レバマダ條文ハ出來テ居ナイ、ケレドモ實質ハ決マッテ居ルト云フ御話デアリマス、今私ガ述ベマシタヤウナ點ハドウナッテ居ルノデアリマスナ、サウ云フ風ニ少シ人民ノ手ヲ引イテ教ヘテヤルト云フ風ニ、イロ／＼ノ難形ノヤウナモノマデ規定スルト云フ方針ニナッテ居ルノデアリマスナ、矢張り斯ウハツト大體ノコトダケヲ決メルト云フ御趣意デアリマスナ、其邊ヲ伺ヒマス

○説明員(山内確二郎君) 施行細則ノコトデアリマスガ、大體其腹案ト致シマスノヲ御參考マデニ申上ゲマス、先ヅ記載例、戸籍ハ如何ニシテ之ヲ記載スルカト云フコト

ヲ、書ク場合ニ記載例ニ細カク定メテ、ソレデ戸籍吏ニ誤リナカラムコトヲ期スルト同時ニ、ソレ此間カラ東京市ノ各區ニ就イテ居書ノ雛形ヲ集メテ居リマス、若シ此法案ガ實施ノ曉ニハ、此雛形ニ依ッテ人民ニ惑ノ無イヤウニ致シマスガ爲ニ、居書式ト云フモノヲ大體定メヤウト考ヘテ居リマス、今東京市ノ各區ニ於ケル雛形ヲ集メテ居リマスガ、マダ全國ノ分ヲ参照スルコト云フコトニハ參リマセヌ、ドウ云フ雛形ニスルカト云フコトハ申上ダ兼ネマスガ、記載例ヲ以テ戸籍吏ニ明カニ示シ、居書式デ人民ニ明カニシテ惑ノ無イヤウニシヤウト思ッテ居リマス、尙ホ戸籍法案モ此大體ハ現行ノ文字ハ俄ニ動カサナイト云フ方法デ、殊ニオカシイ所ダケ文字ヲ換ヘマシタノデ、サウシテ先ツ或ル戸籍吏等ニ就イテ一二聞イテ見マシタ所ガ、從前ノ文字ニ付イテハ非常ニ疑ハシイ所ガアツタガ、今度ノ案デ非常ニ明瞭ニナツタト云フ者ガ多イ、ト云フハ全國トハ申セマセヌガ、多クノ戸籍吏等ガ自分共が見テモ早ク此案ガ實施サレテ、サウシテ疑問等ガ無クナルコトヲ大ニ喜ンデ居ルト云フ次第ヲ聞及ンデ居リマス、又文字ヲ換ヘマシタガ、實ハ疑義アル文字トカ、殊ニ機ナイ文字ヲ換ヘタノデ、大體ハ現行法ノ文字ヲ襲フテ、此案ヲ出シタ次第デアリマス

致スコトハ一向差支ナイコトデアリマス

○伯爵柳澤保惠君 私ハソレヲ請求イタシマス

○副委員長(松岡康毅君) 如何デゴザイマセウ、大體ニ付イテノ御質問ガゴザイマセズバ、中ニ這入リマシテ章毎ニ致シマスとか、或ハ章毎デナク、又説明モアルシ、御質問ガアレバアルト云フコトニシテ、進ミマシタラ如何デアリマス

○富井政章君 大體ハソレデ異議ハアリマセヌガ、第四章ナドハ非常ニ長イ、十九節ニモ分レレ、其邊ハ便宜デ或ハ各節々々ニスルカ、或ハ二三節毎ニスルカト云フヤウナ風ニ切ツテ問題ニ爲サレテハ如何デアリマス

○副委員長(松岡康毅君) ソレハ大體ノ分ハ如何デアリマスカ、モウ御質問ハゴザイマセヌカ……然ラバ御質問ガゴザイマセズバ、是カラ中ニ這入マシテ先ツ第一章……

○奥山政敬君 私チヨット御尋シテ置キタイコトガアリマスガ、衆議院デ修正ニナツテ居リマスガ、アレハ總テ政府デ御同意ニナツタモノデアリマスカ

○政府委員(小山溫君) ソレハ此章ニナリマシタ時ニ、ソコデ申上ゲテハ如何デアリマセウ

○奥山政敬君 ソレデ宜シイ

○政府委員(小山溫君) 大體ハ同意デアリマス

○副委員長(松岡康毅君) ソレハ第一章ニ付イテ政府委員ノ方デ御話ニナツタガ便宜デアラウト云フ廉ガアリマスナラバ、此際御述べクダサルヤウニ願ヒマス

○政府委員(鈴木喜三郎君) 第一章ニ於キマシテ現行法ヲ變ヘマシタ點ハ先ツ第一條デゴザイマス、現行法ニ依リマス云フコト、戸籍吏ト云フコトノ名前ガ出來テゴザイマシテ、戸籍ノ事務ハ戸籍吏ガ管掌シ、其事務ハ戸籍役場デ取扱フ、斯ウ云フコトニナツテ居リマスノデ、改正案ニ於キマシテハ市町村長ノ事務ニ致シマシテ、市町村長ガ之ヲ管掌スル、斯ウ云フコトニ改メマシタノデゴザイマス、其理由ハ既ニ大體ノ説明ニ於テ申上ゲマシタコト、信ジマスルカラ茲ニ省キマス、ソレカラ次ハ八條デアリマスルガ、是ハ現行法ノ二百十七條ヲ改正イタシマシタノデゴザイマシテ、現行法ニ依リマス云フコト、戸籍事務ヲ取扱フニ付キマシテ、國庫ガ費用ヲ支辨イタシマスル時ニハ、其手数料ハ國庫ノ收入ニスル、斯ウ云フコトニナツテ居リマシタノヲ、今度ハ總テ市町村ノ收入ニスルト云フコトニシタノデゴザイマス、ト申シマスルノハ現今ニ於キマシテ國家ガ費用ヲ支出イタシマスル場所ハ、僅ニ小笠原列島ノ戸籍事務ダケデゴザイマシテ、其金額モ至ッテ僅少デ、僅二十圓カ三十圓バカリデゴザイマス、ソレデアリマスルカラ、之ヲ支出スル費用モ僅少デアリマスルシ、收入スル所ノ手数料モ僅少デアリマスルカラ、却ッテ區別イタシマシテ、國家ガ費用ヲ支辨スルモノハ、國家ガソレヲ取ルト云フコトニ致スト云フコト、徒ニ手數ノ複雑ヲ來タスノミニ於テ別段ノ利益モアリマセヌカラ、總テ手數料ハ市町村ノ收入ニスル、斯ウ云フコトニ改メタ次第デアリマス、本章ニ於テ申上ゲルコトハソレダケデアリマス

○說明員(山内確三郎君) 實ハ此案ヲ法制局、内閣ヘ廻ハシマス際ニ、恰度司法省ノ原案ヲ司法省ニアリマス法曹記事ノ附録トシテ二月初メニ實ハ發表シテ居ルノデアリマス、ソレニ付イテ一々意見ガ來テ居ル譯デハゴザイマセヌ、二三ノ戸籍吏ニ就イテ私ガ個人トシテ聞イタコトヲ御參考マデニ申上ゲタ次第デアリマス

○伯爵柳澤保惠君 唯今此施行細則中ニイロノノ雛形ヲ記載ニナルト云フコトニ付キマシテ、東京市ノ各地ノ雛形、又全國ノモ集メヤウトシテ居ルガ、是ハマダ集ラヌト云フコトデゴザイマス、全國全體ノ雛形ト云フモノヲ集メルニハ、大分ノ時日ガ掛ラウト思ヒマスガ、大體ノ雛形トナルベキモノヲ集メテ造ルノデアリマセヌカ、全國ノヲ殘ラス見ルノデゴザイマス

○說明員(山内確三郎君) 全國ノ戸籍吏カラ雛形ヲ取ルト云フコトハ、勿論困難ナコトデアリマスカラ、凡ソ各區裁判所ノ範圍ナリ、或ハ地方裁判所ノ範圍デ、大體ノ雛形ト云フモノハ一定シテ居ルヤウニ考ヘテ居リマス、何レニ致シマシテモ、總テヲ集メルト云フノデ無クシテ、大體ノコトガ分レバ之ヲ標準トシテ、書式ヲ造ル考デアリマス

○伯爵柳澤保惠君 然ラバ最早今日ニ於テ大體此雛形トシテ御出シニナルベキモノノ内容ヲ御示シニナルコトガ出來マス

○說明員(山内確三郎君) 内容ト申シマシテモ全ク形デ、例ヘハ出生届ハ是ノコトヲ書ケ、此法律ニアリマス、例ヘハ東京市ノ用井テ居ル略式ノ形ニ、成ルベク簡略ニ、成ルベク法律ノ要求ニ漏レナイヤウナ形ニ出來テ居リマス、其形ハチヨット申上ゲニクイノデアリマスガ、若シ御入用デゴザイマスレバ、司法省デ集メテ居ルモノガアリマスカラ、御示シ

○富井政章君 チヨット第四條ニ付イテ伺ヒマスガ、此條ハ餘ホド重大ナルコトヲ規定シデアリマスガ、市町村長ガ其職務ヲ執行ニ付イテ、人民ニ損害ヲ加ヘタ如キハ賠償シナケレバナラヌト云フ規定デアリマス、此規定ヲ變ヘタ趣意ニ付イテ先ツ伺ヒタイ、此規定ガ無イトスレバ、市町村長ニ斯ウ云フ責任ガ無イトナツテ、我が國法ノ主義カウ斯ウ

云フ責任が無イト云フコトニナル、ソレデハイケナイカラ、斯ウ云フ規定ヲ置カレタノデアアルガ、寧ロ此規定ハ重大ナリト云フ所ニ在ル、普通ノ輕イ過失ニ付イテハ責任が無イ、重大ナル過失ニ依ッテ生ジタ損害ノミヲ賠償サスノデアアルト云フコトヲ規定セムガ爲ニ置カレタモノデアリマス、寧ロ此規定ノ特色ハ其重大ナル所ニ在ルノデハナイカト思フノデアアリマスガ、其要點ヲ伺ヒタイ、ソレカラ今一ツハ市町村長ニ其賠償ノ義務ガアルノミデアッテ、國家又ハ自治體ニ其義務ハ無イコトヲ間接ニ此條ハ表ハシテ居ルノデアアルト思ヒマスガ、然ルニ市町村長ニ斯ウ云フ損害ヲ賠償サスノコトハ、隨分重大ナル責任デアッテ、ソレデケノ實力が無イト云フヤウナコトガ屢、アラウト思フ、被害者ヲ保護スルコト云フ方面カラ云ヘバ、國庫ニ賠償ノ責任ガアルト云フ方ニスル方宜クハナイカ、是ハ餘ホド重大ナ問題デアリマス、私ハ決シテ此一般官吏ノ責任ニ付イテ、今日サウ云フ主義ヲ採用スルノ宜イト云フノデハナイデアアル、少クモ戸籍事務ト不動産登記事務ナドニ付イテ、被害者ヲ保護スル必要上ヨリ直接ノ損害ヲ生ゼシメタ者ニ賠償ノ義務ガアルハカリデナイ、國家ニ其賠償ノ義務ガアルト云フ方ニスル方宜クハナイカ、サウ云フ點ニ付イテ十分御調査ガアッタノデアアルカ、一應伺ヒタイ

○國務大臣(奥田義人君) 此第四條ハ御承知モアラセラルル如ク、現行法ニ於キマシテモ、此通りノコトガアリマス、又不動産登記法ニモ是ト同ジヤウナ趣意ノコトガアリマス、其他公證人規則デシタカニモアリマス、二三法律ノ上ニ是ト同様ナル規定ガ存シテアリマス、而シテ其趣意ハ、私ノ解釋シテ居ル所ニ依リマス、唯今富井サシノ述ベラレタ通りニ、全ク「故意又ハ重大ナル」ト云フ所ニ重キヲ置テアルノデアッテ、小過失ニ付イテハ假令損害ヲ加フルコトアリト雖モ、其賠償ノ責が無イト云フ方ハ、是ハ裏カラ定メタモノデアラウト考ヘテ居リマス、ソレデ此箇條ハサウ云フ次第デアリマシテ、現行法ノ規定ヲ其儘此處ニ置キマシタノデアリマス、之ニ付イテ國家若クハ自治體、是ハ國家ノ……戸籍事務ハ國家ノ事務デアリマス、固ヨリ損害賠償ノ責任ニ付イテ云フコトニシマスレバ、固ヨリ國家ガ任ズルコトニナルベキモノデアラウト思ヒマス、國家ノ損害賠償ノコトニ付キマシテハ、御承知モアラセラルル通りニ、今日マデ政府若クハ一般ノ法制ノ上ニ於テ探テ居リマス所ノ主義ニ於テ之ヲ見マスルト云フト、多分元ノ起リハ國家ニハ過失ナシト云フ議論ガ勝リ占メテ、ソレデ先ツ大體國家ハ過失ノ無イモノデアアル、從ッテ又損害賠償ノ責任ニ限リモノデナイ、斯ウ云フヤウナ主義ノ下ニ國家ノ賠償責任ノコト云フモノガ、何レノ法制ノ上ニモ現ハレテ居ラヌノデアラウト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、唯茲ニ例外ノアリマス、確カ鐵道法ト郵便法デアリマシタカ、場合ニ依ッテ國家ガ賠償ノ責任ニ付イテコトガアッタカノヤウニ覺エテ居リマス、是ハ多分事務ノ性質ガ營業ニ屬スルモノデアラカラシテ、特別ニ國家ノ賠償ノ責任ノコトヲ定メタモノデアラウト思ヒマス、其他行政事務ナドニ付キマシテハ、國家ノ賠償責任ノコトハ何レノ法制ノ上ニモ現ハレテ居リマセヌ、ソレ故ニ此點ニ付イテハ衆議院ニ於キマシテモ屢、質問ガ起リマシテ、其當時私ノ答ヘマシタノニ、國家ノ賠償責任ノコトハ恰度唯今述ベマシタルガ如クニ、モト國家ニハ過失が無イト云フ方ノ原則ノ下ニ、諸般ノ法制ノ上ニ責任ノコトハ現ハレテ居ラヌノデアラウト考ヘル、併ナガラ今日ニ於テ之ヲ考ヘテ見ルト云フト、ドウモ何レノ場合ニモ國家ニハ賠償責任ハ無イ、即チ國家ニハ過失が無イト云フ

コトノ原則ト云フモノハ、果シテ當ヲ得タ原則デアアルカ否ヤト云フコトハ甚ダ疑ガッテ居リマス、ドウモ或ル範圍ニ於テハ國家ノ賠償責任ノコトモ定メナケレバナラヌデハナイカト自分ハ考ヘテ居リマス、政府ニ於キマシテモ曾テサウ云フヤウナ論ノ起ツタコトガアリマシテ、多少其點ニ付イテモ調査ヲ仕カケタコトヲ覺エテ居リマス、ケレドモナカノ、是ガ範圍ヲ定メマスルノハ面倒デアリマス、又諸外國ノ例ニ付イテ見マスルノニ、參考トナルベキ立法例ト云フモノモ甚ダ少イデアリマス、今マデノ所デハ……併ナガラドウモ私自身ノ考ヘテ居リマスル所デハ、國家ニハ絶對ニ過失が無イト云フコトノ原則ハ當ヲ得ナイデアラウト思ヒマス、其範圍ニシテ適宜ニ之ヲ定メルコトガ出來得ルコトデアリマス、相當ナル法制ヲ設ケマシテ、國家ニ責任ノアルコトヲ定メラレルノガ適當デハナイカト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、併シハ頗ル重大ナル問題デアリマス、十分ニ調査、研究モシナケバレナリマセヌ、急ニドウ致スト云フコトヲ茲ニ明言スルコトモ固ヨリ出來マセヌケレドモ、自分デケノ考デハ左様ニ思ッテ居リマス、ソレデ先ツ第四條ハ現行法ニモ此儘アルモノデアリマス、現行法ノ儘ヲ此處ニ現ハシマシテ、而シテ一般ノ國家ノ賠償責任ノコトニ付キマシテハ改メテ政府ニ於テ研究ヲ遂ゲテ、果シテ或ル範圍ニ於テ之ヲ定ムルノガ適當ナリト認メマシタナラバ、相當ノ法案ヲ作ッテ、サウシテ議會ニ提出スルヤウニシタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○山脇玄君 唯今ノ司法大臣ノ御話ニ付イテ伺ヒマスガ、現行法ニ依ッテ斯ウ云フ場合ノ生ジタ實例ガ、御調ニナッテ居リマセウデゴザイマス、斯ウ云フ場合ガアッタモノデアリマス、法文ニ書イテアルデケデアリマス

○政府委員(小山溫君) 御答イタシマスガ、今日マデ一度モゴザイマセヌ

○副委員長(松岡康毅君) 一章ニ御質問ハゴザイマセヌカ……ゴザイマセヌバ次ヘ移リマス

○政府委員(鈴木喜三郎君) 第二章ニ於キマシテ改正ヲ加ヘマシタノハ第十一條デゴザイマス、現行法ニ依リマスレバ戸籍ノ副本ハ地方裁判所デ保存スルコト云フコトニナッテ居リマス、今回改メマシテ區裁判所デ保存セシムル、斯ウ云フコトニ致シタノデゴザイマス、是ハ御承知ノ如ク、區裁判所ノ方が數ガ多ウゴザイマス、分ケテ保存サセテ置タ方が宜カラウ、斯ウ云フ譯カラスノ如ク修正ヲ致シマシタ、ソレカラ次ハ十七條デゴザイマスガ、是ハ新設條文ト申シテ宜シウゴザイマス、ソレカラ十六條ニ於キマシテ少シク現行法ニ改正ヲ加ヘタノデゴザイマシテ、此十六條ハ現行法ノ百七十三條ニ該當スルモノデゴザイマシテ、矢張り趣旨ニ於キマシテハ同一デゴザイマス、此抹消シタル戸籍ハ戸籍簿カラ除クト云フコトハ、現行法百七十三條モ示シテ居リマス、今回ハ除籍簿ト云フ名ヲ付ケマシテ、除キマシタル所ノ戸籍ヲ編綴スルコト云フコトニ致シタノデアリマス、從ッテ此除籍簿ト云フモノノ閱覽ト云フモノハ、或ハ其除籍簿ヲ役場外ニ持出スコトハ出來ナイト云フコトヲ規定スル必要ガ起リマシタシ、又戸籍簿カラ除キマシタル所ノ戸籍ガ、未ダ簿冊ニ編綴イタシマセヌ場合ニ於テ、其除キタル戸籍ノ謄本、正本ヲ請求スルコト云フコトヲ許ス必要ガゴザイマス、是等ノ必要ニ基キマシテ、十三條乃至十五條ノ規定ヲ除籍簿並ニ除キタル戸籍簿ニ準用スルコト云フコトニ致シタノデアリマス、而シテモウ一ツ申シマスノハ九條デゴザイマスガ、「戸主ヲ本トシテ一戸毎ニ之ヲ作ル」

云フ、斯ウ云フ風ニ戸主ヲ本トシテト云フコトヲ茲ニ規定イタシマシタ、其次第ハ現行法ニ於キマシテ戸主本位アルト云フコトハ幾多ノ條文ニモ其意思ハ分カッテ居ルノデアリマスガ、茲ニ明白ニ戸主本位ト云フコトヲ現ハシテ以テ、家族制度ノ基本ヲ示スト云フコトカラ致シマシテ、戸主本位ト云フコトヲ茲ニ示シタ次第デアリマス、而シテ本條ニ於テ衆議院ノ修正ニナリマシタ點ハ、九條十條デアリマシテ、共ニ修正シタル點ハ同シデアッテ、「作ル」ト云フ文字ヲ「編製ス」ト云フ文字ニ變ヘタノデ、此點ニ對シテハ政府ハ別段異議ハゴザイマセヌ

○奥山政敬君 チョット茲デ質問ヲ致シマスガ、此衆議院ノ修正ニ付キマシテ政府ハ御同意ト云フコトデアリマスガ、第九條ニ「作ル」ト云フコトヲ「編製」ト云フコトニナッテ居ル、總テ此作ルト云フコトハ總テ編製ト云フコトニ改マッテ居ルヤウデアリマスガ、此百八十三條ニ於キマシテ矢張り「作ル」ト云フ字ガアリマスガ、是ハ修正ニナッテ居リマセヌガ、ドウ云フ譯デアリマセウカ、「作ル」場合ニモ亦之ヲ適用ス」ト云フコトニナッテ居リマスガ、是ハ修正ニナッテ居リマセヌガ、何カナラヌ理由ガアッタノデゴザイマスガ

○政府委員(小山溫君) 此點ハ矢張り「編製」ト云フコトニナルノデアラウト思ヒマス、ドウカ然レバ……尤モ是ハ附則デアリマスカラ、此儘デモ差支ハ無イトハ思ヒマスルガ、體裁カラ申シマスレバ、矢張り編製ト云フコトニナルダラウト思ヒマス、衆議院ノ修正ハ茲ニ至ラナカッタノハドウモ或ハ見落シテハナカッタカト思ヒマス

○伯爵柳澤保惠君 唯今私モ一ツ伺ヒタイト思ヒマシタガ、此「編製」ト云フ字ハ餘リ適當デナイト思ヒマスガ、何故ニ政府ハ「作ル」ト云フ原案ノ字ヲ御主張ニナラナカッタノデゴザイマスガ

○政府委員(小山溫君) 現行法ガ「編製」トナッテ居リマスカラ、原案ハ「作ル」ト致シマシタケレドモ、……衆議院デモ矢張り斯ウ云フ場合ニハ編製ト云フコトハ言ヘルト云フコトデアリマスガ、同意ヲ致シマシタノデゴザイマス

○國務大臣(奥田義人君) チョット是ハ些々タルコトデアリマスケレドモ、私ガ其當時承ッテ居ッ所ニ依リマスルト、戸籍ヲ作リマスノニ唯「作ル」トアルト、自分ノ方デ拵ヘルヤウニ見エル、届出ニ基イテ是ハ拵ヘルモノデアルカラシテ、矢張り編製トシタ方が事實ニ適フト云フヤウナ論ガアッタヤウニ私ハ承ッテ居リマス、ドチラニナリマシタ所ガ、サウ大シタ爭フ程ノコトデアリマセナンドデ、是ハ同意ヲシタノデアリマス、「作ル」ト云ヘバ届出ニモ何ニモ無イノニ自分ノ方デ拵ヘルヤウニ見エルト云フ論ガアリマシタ、カノヤウニ覺エテ居リマス

○富井政章君 戸籍簿ト云ヘバ編製スルト云フ方が宜イト思ヒマスケレドモ、戸籍ト云ヘバ一枚デ済ムコトモアリマスカラ編製ト云フ文字ハ不同意ヲ表シマス、ケレドモ、今大臣ノ言ハレマシタ通り、爭フ程ノコトデアリマセヌガ……

○伯爵柳澤保惠君 成ホド現行法ノ百七十九條ニハ「之ヲ編製ス」トアリマスガ、百七十五條ニハ「作ル」トアリマス、必シモ現行法ガ編製主義デ行ッテ居ルヤウデナイ、確カ大寶令ニモ之ヲ作ルト書イテアルト記憶シテ居リマス

○政府委員(小山溫君) 此現行法ニハ戸籍ハ一戸毎ニ一本ヲ作ル、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、ソレカラ大寶令ニモ確ニ「作ル」トアッタト記憶シマス、ソレデ政府ハ「作ル」

ト致シマシタガ、衆議院ノ趣意ハ今大臣カラモ言ハレマシタ通りニ作り出スノデナクシテ編ムノデアアル、戸主ヲ本ニシテ順序ヲ付ケテ編ムノデアアル、恰モ竹ヲ編ム如ク編ムノデアアルト云フコトデ、斯ウ云フコトニナリマシタノデアリマス、政府ハ異議ヲ云フ程ノコトモ無イト存シマシテ、斯ウ致シマシタ

○國務大臣(奥田義人君) チョット御斷リヲ致シテ置キマスガ、全體「作ル」ヲ「編製」ト修正ニナリマシタコトハ、先刻述べマシタ通りノ次第デアリマスガ、其當時委員會デ整理ハ政府委員ニ委カセルト云フヤウナ發議ガアリマシテ、ソレデ政府委員ノ方デ大抵見落シノ無イヤウニ整理ヲ致シマシタ筈デアッタノデアリマス、然ルニ百八十三條ノ所ニ於テ茲ニ一ツ見落シマシタコトハ衆議院ノ本會議ノ濟ミマシタ後ニ委員長モ氣付カレマシテ、是ハ不都合デアッタ、アトデ又貴族院ノ方デ修正ヲ加ヘラレルヤウニシタイト云フ、斯ウ云フ風ナ注意ガアリマシタ、ドウモ全ク政府ノ方モ惡ルカッタ、疎漏デアリマス、委員ノ方モ疎漏デアリマスガ、左様ナ成行デ、アトデ氣付キマシタノデ、今日甚ダ不都合デアリマスケレドモ、ドウモ已ムヲ得ナイ次第デアリマスカラ、御了知ノ上、然ルベク御修正ヲ願ヒマス

○伯爵寺島誠一郎君 些細ナ問題デハゴザイマスケレイモ、富井博士ノ仰シヤッタコトガ、ドウモ理窟ガ有ルヤウデアリマスカラ、私ハ豫メ茲デ富井博士ノ說ニ贊成デアルト云フコトダケ辯明シテ置キマス

○副委員長(松岡康毅君) 富井博士ノ說ト云フト……

○富井政章君 私ハ復活ヲ主張シタノデアリマセヌ

○伯爵寺島誠一郎君 富井博士ハ直サウト仰シヤッタノデハナイガ、併シ又サウ云フ場合ガアッタ時ニハ……豫メ此事ヲ……

○副委員長(松岡康毅君) 豫報デスネ

○河村讓三郎君 此戸籍ヲ作ルト云フ文字ヲ假ニ存スルト致シマス、改メテ作り再ビ作ルト云フヤウナコトヲ書ク必要ノ場合ハ有リマセヌデアリマシタラウカ、若シ有リマシタラ其場合ハ改作再作ト書クノデアリマセウカ、ドウナルノデスカ

○政府委員(小山溫君) 十五條ニ「再製」ト製ノ字ガ使ッテゴザイマス、ソレカラ百八十四條ノ二項ニ「改製」ト製ノ字ガ使ッテアリマス、改作ト云フノハ工合ガ惡ルウゴザイマスデ、原案ニモ「改製」再製トナッテ居リマス、ソレモ衆議院デ修正ニナリマシタ理由ノ一ニナッテ居リマス

○副委員長(松岡康毅君) 第二章モ大抵御質問ガ盡キマシタヤウデアリマスガ、如何デアリマセウ時間ガ十二時ニ到來イタシマシタガ、午後引續イテ御調ニナリマスルカ、又ハ明日ニ致シマシテ、今日ハ散會ニ致シマスルカ、御多數ニ依ッテ……

○加太邦憲君 モウ閉會期モ迫ッテ居リマスルシ、御差支ノ方が少イヤウデアリマスレバ、ドウカ引續イテ御開キニナリマスヤウニ……

○山脇玄君 私ハ宜シウゴザイマス、何レヤランナリマセヌノデスカラ……

○委員長(松岡康毅君) ソレデハ暫ク休憩イタシマシテ、又午後一時カラ始メマス

午前十一時五十三分休憩

午後一時十三分開會

○副委員長(松岡康毅君) ソレデハ午前二時續キマシテ開會ヲ致シマス、第三章ノ先ヅ是ダケノ所デ、御質問デモゴザイマスカラバ……

○伯爵寺島誠一郎君 前ノ第二章ノ方ガチヨット伺ッテ置キタイ所ガゴザイマス、宜シウゴザイマスカ

○副委員長(松岡康毅君) ソレデハ……

○伯爵寺島誠一郎君 第十四條ニ市町村長ハ正當ノ理由アル場合ニ限り前二項ノ請求ヲ拒ムコトヲ得「下アル、此正當ノ理由ト云フハ如何ナル理由ノ場合デゴザイマスカ、一通リ御説明ヲ得タイと思ヒマス

○政府委員(鈴木喜三郎君) 是ハ場合ハ多クゴザイマセウガ、先ヅ重モナル一二ノ例ヲ申シマスレバ、戸籍簿ノ閱覽ヲシ、若クハ戸籍ノ謄本、抄本ヲ受ケマシテ、詰リ身分關係ガイロノニナッテ居ルト云フヤウナ所ヲ見テ、ソレヲ材料トシテ人ノ所ヘユスリニ行クヤウナコトガアルトカ、或ハイロノノ争カラ致シマシテ、市町村長ヲ苦メル爲ニ、戸籍簿ノ閱覽ヲ……一市町村全部ノ戸籍簿ヲ見セテ吳レトカ、或ハ戸籍謄本ヲ……全市町村ノ戸籍謄本ヲ吳レト云フヤウナ事ヲ致シマシテ、市町村事務ヲ殖ヤストカ、是ハマア政黨政派ノ争カラ無イトモ期セラレナイ、人ノ名譽ヲ毀損シ、或ハ今申スヤウナ事務ノ多端ヲ惹起サウト云フヤウナ故意ヲ以テシタル場合ハ、其重モナル一二ノ例デアリマス

○伯爵寺島誠一郎君 唯今政府委員ノ御説明デ先ヅ分リマシタケレドモ、御答ハ前段ト後段トニ分ッテ居リマシタヤウデ、後ノ方ノ理由トセラル、所ノモノハ能ク分ッテデアリマスレドモ、始めノ人ノ身分關係云々等ノコトニ付イテ、此誹毀ノ目的ニ使フトカ、或ハ名譽損害ノ目的ニ使フト云フヤウナ場合ニハ、正當ノ理由トシテ閱覽ヲ斷ハルト仰シヤイマシタケレドモ、此戸籍ノ閱覽ヲ願出テ、又ハ其謄本ヲ請求シテ來ル場合ニ、目的ト云フモノヲ一々御尋ニナッテ居ラヌヤウニ記憶シテ居リマスカ、ソレ等ノ所ハドウ云フ所デ御判斷ニナリマスカ、實際ノ所ヲチヨット伺ッテ置キマス

○政府委員(鈴木喜三郎君) 唯今マデノ所ニ於キマシテ、閱覽或ハ謄本抄本ノ交付ニ付キマシテハ、理由ヲ示サセマシテスルト云フコトハゴザイマセヌガ、先ヅ市町村長ニ於テ是ハ新聞屋ガ誹毀ノ材料ニ使ハウト云フヤウナ風ニ認メマシタ時ニデスナ、ドウ云フ譯デアラウ、斯ウ云フ譯デアラウト云フコトヲ問糺シテ、而シテ唯今申シマシタヤウナ理由ノ有ルコトヲ認メマシタキニハ拒ムコトガ出來ル、斯ウ云フコトニナルデアリマス

○副委員長(松岡康毅君) ソレデハ第三章ノ説明ヲ……

○政府委員(鈴木喜三郎君) 第三章ニ付キマシテ改正イタシタル點ハ、先ヅ十八條デゴザイマス、十八條ハ現行法ノ百七十六條ニ該當スルモノデゴザイマシテ、此十八條ノ二項ニ於キマシテ……二號デゴザイマスカ、「戸主ガ華族又ハ士族ナルトキハ其族稱」ト云フコトニ致シマシテ、平民ノ場合ニ於キマシテハ戸籍ニ登錄ヲシナイト、斯ウ云フコトニシタノデゴザイマス、其次第ハ華族士族ダケヲ掲ゲテ置キマスレバ、數ニ於キマシテモ平民ト云フモノハ多イデゴザイマスカラシテ、之ニ依ッテ以テ繁文縟禮ヲ避ケル、斯ウ云フ意味カラ致シマシテ、單ニ華族士族ダケヲ族稱ヲ書クト云フコトニ致シマシタ、ソレカラ其十三デゴザイマス、十三ニ於キマシテハ、「保佐人」ト云フモノヲ記載サセルコトニ致

シマシタ、是ハ準禁治產ノ宣告ヲ受ケタ者ニハ保佐人ヲ付スルコトガ出來ルノデゴザイマシテ御承知ノ如ク準禁治產者ハ或ル重大ナル行爲ニ付イテハ保佐人ノ意見ノ下ニ法律行爲ヲ致スト云フコトニナッテ居ルモノデゴザイマスカラ、後見人ヲ戸籍簿ニ公示イタシマスル必要ガアルト共ニ、保佐人ヲモ戸籍簿ニ表ハシテ置クト云フコトガ必要デアラウト云フ理由カラ保佐人ノ規定ヲ置キマシタノデゴザイマス、ソレカラ次ニ二十一條、二十一條ニ於キマシテモ此届出……二十一條ノ一號デゴザイマス、一號ノ「届出人又ハ申請人ノ資格及ヒ氏名」此「資格」ヲ戸籍ニ記載スルト云フコトニ致シマシタノハ、詰リ此届出人若クハ申請人ト云フモノハ、他人ガスルヤウナ場合モアリマス、例ヘハ出生ノ場合、死亡ノ場合等ニ於キマシテ產婆ガ届出ルトカ、或ハ家主ガ届出ルト云フヤウナコトガアリマスカラシテ、ドウ云フ資格ニ準テ届出ルト云フコトヲ知ル必要ガアリマスレバ、是ヲ入レマシタ次第デゴザイマス、ソレカラ次ハ二十三條、二十三條ハ現行法ノ百七十九條ニ該當スル譯デゴザイマシテ、百七十九條ニ依リマス、家督相續又ハ家督相續回復ノ登記ヲ爲シマスル時ニ、新戸籍ヲ編製スルト云フコトニナッテ居リマス、所ガ新戸籍編製ト云フモノハ、當ニ家督相續若クハ家督相續回復バカリデハゴザイマセヌ、其他戸主ニ變更ヲ來タス事項、例ヘハ失踪宣告ナリ、戸主ガ取消サレルトカ、或ハ隱居ノ無効デアルトカ、或ハ隱居ガ取消サレルト云フヤウナコトデ、戸主ノ變更ヲ來タス場合ガアリマスカラ、ソレヲ入レマシタ次第デゴザイマス、ソレカラ同條ノ二項ニ於キマシテ、現行法ハ「家督相續人カ胎兒ナル時ハ其出生マデハ前二項ノ届出ヲ爲スヲ要セス」トアリマシタガ、出生ダケデハマダ分リマセヌカラ、出生ノ届出ガアッテ出生ノ記載ヲナスマデト、斯ウ云フコトニ致シタ次第デアリマス、次ハ二十四條デゴザイマス、此復籍拒絕ノ届出ガアリマシタ時ニ、其事柄ヲ戸籍ニ記載スベキコトハ現行法モ亦認メテ居ルノデゴザイマス、サリナガラ此復籍拒絕ノ届出ガアリマシテ、戸籍ニ登錄イタシマシタ後ニ、新二戸籍ヲ作りマスルコトガゴザイマス、例ヘハ家族ガ戸主ノ同意ヲ受ケズシテ餘所ニ嫁ニ行クト云フヤウナコトガアリマスト云フト、復籍拒絕ヲ戸主ハ爲スコトガ出來ル、復籍拒絕ヲシテ自分ノ戸籍ニ登錄シテ置ク、所デ自分ガ轉籍ヲ致シマスルト、轉籍ニ依ッテ新二戸籍ヲ作りマス場合ニ於テハ、既ニ自分ノ娘ガ餘所ニ嫁ニ行ッテシマッタ、其娘ノ戸籍ト云フモノハ、轉籍先ノ戸籍ニハ最早載ッテ居リマセヌカラ、其娘ガ復籍拒絕ヲサレテ居ルカドウカ分リマセヌ、分ラヌヤウニナルト困リマスノデ、ソコデ新二戸籍ヲ作ル場合ニ於テ、復籍拒絕ト云フコトヲ移記スルノデ、新二戸籍ヲ移シテ行クト云フ考カラ致シマシテ二項ヲ設ケマシタ、サリナガラ其復籍拒絕ヲセラレタルモノガ、最早死ンデシマヒマスレバ、復籍拒絕ヲ記載スル必要モゴザイマセヌシ、又拒絕セラレタ者ガ一家ヲ創立シテシマハバ復籍スルト云フコトハ無イコトニナルカラ、其時ニ復籍拒絕ニ關スルノ登錄ヲ抹消スル、斯ウ云フ必要カラ三項ヲ設ケタデアリマス、ソレカラ二十五條モ新設條文デゴザイマシテ、家督相續人ノ指定ノ届出ガアッテ場合ニハ戸籍ニ記載シテ、此除籍ノ明カニシタ次第デアリマス、ソレカラ二十六條モ亦新設條文デゴザイマシテ、此除籍ノ手續ヲスルニハ入籍ノ手續ガアッテ後ニシナケレバナラヌト云フコトニ致シマシタノデゴザイマシテ、是ハ戸籍ノ上ニ於キマシテ除籍ノ方ヲ先キニシテシマッテ、入籍ノ手續ガ後ニナルト云フト、一瞬間タリトモ無籍者ヲ生ズル形ガ出來マスカラ、ソコデ戸籍ヲ除クカラ



コトヲ記載セシメザルカ爲ニ、戸籍ニハ全ク職業ヲ記載シナイデ、唯或ル目的デハ次ノ章ニ於テ問題ニナルト思ヒマスガ、或ル種類ノ居出ニ付イテノミ、居出當時ノ職業ヲ明ニスルコトガ出テ居リマス、其以外ニ於テ身分ノ關係ヲ明カニスル趣意ニ於テ戸籍ニ記載シナイ、身分登記ニ記載シナイト云フコトニ改メテ次第アリマス

○伯耆柳澤保惠君 二十一條ニアリマスガ、ソレハ「職氏名」ト出テ居リマス、是ハ職業デハナイノデスカ

○説明員(山内確三郎君) 是ハ戸籍ノ居書ヲ發送スル或ハ報告ヲ出ス者、是ハ官公署トナッテ居ル、官公吏トナッテ居ル、船長カラ報告ヲ出ストキハ船長ナラバ船長タル職ヲ書キ、其他官吏或ハ公吏ナラバ其官吏タル職ヲ書クト云フ趣意デ、二十一條ノ分ハ職業ヲ明カニスルト云フ趣意ニハナッテ居ラナイノデアリマス

○伯耆寺島誠一郎君 是ハ分り切ツタ御尋デアルカ知レマセヌガ、チヨット伺ッテ置キマス、第四十一條ノ第一項ノ但書ノ所ニ、「但其記載ヲ更正スルコトヲ妨ケス」ツレト「地番號ノ變更アリタルトキハ戸籍ノ記載ヲ更正スルコトヲ要ス」トゴザイマスノハ是ハ届出ヲ致シマセヌデ、當然市町村役所ニ於テ戸籍吏ガ致シマスコトデゴザイマス

○説明員(山内確三郎君) 此第四十一條ノ第一項ノ但書ノ「記載ヲ更正スルコトヲ妨ケス」ト云フ文字ハ一體不動産登記法ニ斯ウ云フ趣意ノ規程ガアル、本文ノヤウナ規程ガアル、サウ云フ場合ハ戸籍ノ記載、或ハ登記ノ記載ハ訂正セラルモノト看做ストナリマス、之ヲ書キ直スコトハ出来ヌ解釋ニナッテ居リマス、ソレデ場合ニ依ルト、甚ダ不都合ナコトガ起ルノデ、戸籍ガ例ヘバ甲村トナッテ居ルノガ、乙村ト變タトキハ當然法律ガ訂正セラレタモノト看做ストナルト、書キ直スコトガ出来ヌト云フ解釋ヲスルコトニ登記法ニ付イテ致シテ居ル、ソレハ困ルカラ記載ヲ更正シテモ宜シ、第二項ノ方ハ戸籍ノ記載ガ變更スル場合ト云フモノハ、各、届出訂正ノ章節ニ明カニサレテ居ル、番地等ニ付イテ記載ヲ更正セラル、ト云フヤウナ規程ガアル、サウ云フ次第デアリマスカラ、此分ハ番地ハ特ニ記載ヲ書キ改メルコトヲ必要トスル、斯ウ云フコトヲ明カニシテ考デアリマス

○伯耆寺島誠一郎君 届出ナクシテ市町村戸籍吏ガ自カラシテヤルノデスカ

○説明員(山内確三郎君) 其積リデゴザイマス

○河村讓三郎君 第二十四條ノ三項ノ中ニ「其他復籍スルコトナキニ至リタルトキ」斯ウ淡泊ノ御書キニナリマシタノハ、復籍ヲ拒絕セラレタル者ガ離婚又ハ離縁ニ依ッテ一家ヲ創立スルコト云フ場合ノ外ニ、又斯ウ云フ場合ガアルト云フノデ、斯ウ廣ク御書キニナッテノデゴザイマスガ、或ハ文章ノ都合デ、斯ウ御書キニナッテノデゴザイマスガ、其場合ハ唯今申シマシタ場合デケニ限ルノデゴザイマス

○説明員(山内確三郎君) 初メノ案ニハ唯今河村サンカラ言ハレタ場合デケヲ列舉シテ居タ、所ガイロク考ヘマストダン、場合ガ出テ來デ、一ツノ場合ヲ舉ゲレバ他家ニ縁附イテ、ソレガ復籍拒絕セラレテ居ル、其者ガ夫ガ死ヌト云フ場合ニナリマス、最早離婚ト云フ場合ハ來ナイ、サウシテ復籍スルコト云フ問題ガ起ラナイ場合、或ハ他家ニ縁附イテ居ル者ガ家督相續ヲスル、更ニ他家ニ這入ルカ、或ハ其家ニ於テ家督相續ヲシテ、終ニ戸主トナルト云フヤウナ場合モ、詰リ恰度夫ガ死ヌ場合等ト同ジク復

籍ト云フ問題ガ起ラナイノデアリマス、サウ云フ場合ヲ考ヘマスト、イロク起テ來マスカラ、列舉主義デハ甚ダ危ナイト云フノデ、之ヲ廣クシタノデゴザイマス

○河村讓三郎君 今一度伺ヒマスガ、婚姻ニ依ッテ他家ニ這入リマシタ者ガ、夫ガ死ニイタシマス、其後離婚ト云フコトハ無論出来マセヌガ、實家ニ歸ルト云フ手續ガアツタカト思ヒマスガ、如何デアリマセウ、ソレカラ養子縁組ニ依ッテ他家ニ這入リマシタ者ガ、養親ノ死亡ニ依ッテ離縁ハ出来マセヌガ、確カ戸主ノ同意ヲ得テ離縁スルト云フコトガ出来ルヤウニナッテ居タト思ヒマス、ソレカラ養子ガ戸主ニナリマス、無論離縁ハ出来マセヌガ、又隱居ヲシマスト離縁スルト云フコトガ出来ルヤウニナルノデゴザイマス、其場合ヲ想像シマス、戸主ニナッタカラト云フテ復籍拒絕ノ記載ヲスル、其後ニ隱居ヲシテ又離縁スルト云フコトガアラウト思ヒマスガ、サウ云フイロクナ場合ヲ想像シマシテ差支ハナイノデセウカ、サウ云フ場合ニ付イテ一ツ詳細ニ民法ノ箇條ナドヲ御引キニナッテ御説明ヲ願ッテ置キマス

○説明員(山内確三郎君) 婚姻ヲシタ後ニ、夫ガ死ンデ其實家ニ復籍スルト云フ場合ハ親族法ノ場合デハアルマイカト思ヒマス、ソレハチヨット復籍トハ言ヒ兼ネルヤウニ感ジテ居リマスガ、或ル方法デ復籍ガアルト致シマシテモ……其場合ニ假ニ復籍ガアルト致シマシテモ、結局復籍スルコトガ出来ナイ場合ト云フモノガ澤山アリハシナイカト思フ、即チ單身戸主ニナッテシマス、ソレカラ養子縁組ニ行ッテ居ル者ガ、戸主ニナッテ後ニ隱居シテ復籍スルト云フ場合モアリマスガ、サウ云フ復籍スルコトガアル場合ハ、勿論復籍スルコトナキニ至リタルト云フコトニハチヨット當リ兼ネルト思ヒマスガ、結局サウ云フ場合ハ或ル事ガ起ルト云フト、復籍スルコト能ハザルニ至ル場合ガ生ズルデアラウ、一家ヲ創立シタ場合ノミト云フコトニ之ヲ限ルト云フト、免ニ角或ル場合ハ漏レルモノデスカラ、非常ニ危険ダト思ッテ、之ヲ擴ゲテ次第デアリマス

○河村讓三郎君 少シマダ私ニハ了解シ兼ネマスケレドモ、私モ少シ研究シタウゴザイマス、追ッテ又質問シマスカラ、今日ハ是デケニ致シテ置キマス、ソレカラモウ一ツ外ノ事デ御尋シマス、矢張り二十四條デゴザイマス、ソレハ復籍拒絕ノ事項ヲ抹消スル連絡ノコトデスカ、先ヅ戸主ノ同意ヲ得ズシテ、婚姻ヲシマスルト云フト、復籍拒絕ヲサレル、其復籍拒絕ノコトハ實家ノ戸籍ニダケ書イテ置クト云フコトニナリマス、ソコデ婚姻ヲシマシテ今這入ッタ者ガ死亡致シマス或ハ離婚ヲシテ一家ヲ創立スルト云フ時ニ、死亡ノ居、ソレカラ離婚及他家創立ノ居ト云フモノガ、實家ノ家ノ戸籍役場ニ廻ッテ來ル、其連絡方ニ付イテ伺ヒタイノデスカ、其居書ヲ一通シナケレバナラヌト云フコトハ、何處カニ規定ガアツタヤウニ思ヒマスガ、一通出シマシテ一通ノ方ノ居ヲ何處ニヤルカ、即チ實家ノ方ニヤルト云フコトガ分リマセヌ、即チ復籍拒絕ヲサレタト云フコトガ、實家ノ戸籍ダケニ書イテアルカラ、ソレガ本家ノ戸籍ニ書イテアレバ分リマスガ、ソレガ分ラヌヤウニナリハセヌカト思ヒマス、ソレヲ尋デ實家ノ方ニ是ハ復籍サレタモノデアルカラ、實家ノ方ニ死亡居ラヤラナケレバナラヌト云フ、其連絡ガ何處カラ出テ來ルモノデセウカ

○説明員(山内確三郎君) 此二十四條ノ唯今、御質問ハ、一番規定ヲスル中デ、困ツタ注文ナノデ、ソコデ若シ復籍拒絕ノ記載ヲ縁家先即チ婚姻ヲ致シテ這入ッタ家ノ戸籍ニ復籍拒絕ト云フコトガ書イテアレバ、例ヘバ其者ガ後ニ死亡シタ場合ニ復籍拒

絶ヲサレタ者アルト云フコトハ死亡届ヲ受理シタ市町村長ニ於テハ直チニ知ルコトガ出來ルノデアアル、サウナルト詰リ居書ヲ復籍拒絶ノコトニ付イテ實家ノ方ニ送ル必要モ何ニモ無クシテ、復籍拒絶ノ記載モ全ク消シテマフコトニナル、所ガ一旦他家ニ縁附イタ者、即チ他家ニ入ッテ妻トナッテ居ル者、或ハ養子トナッテ居ル者ガ、ソレハ戸主ノ同意ヲ得ナイモノデアアルカラ、復籍拒絶ヲサレタモノデアアル、謂ハバ勘當サレタヤウナモノデアアル云フコトヲ、其者ノ縁家先ノ戸籍ニ書クト云フコトハ如何ニモ忍ビナイト云フノデ、縁家先ノ、縁附イタ先キノ戸籍ニ復籍拒絶ノコトハ書カナイト云フコトニ現行法デハナッテ居リマス、此案モサウ云フコトニシテ居ルノデゴザイマス、ソコデ二十四條ノ末項デ其者ガ死亡時ニハドウスル、ソレハ復籍拒絶ノ記載ヲ抹消スル、此復籍拒絶ノ記載ハ實家ニ在ル、實家ノ戸籍ニ復籍拒絶ノコトガ記載サレタル、ソレヲ消スト云フ方法ニ甚ダ、謂ハバ困ッダヤウナコトガ起ッテ來ル、ガ此案ニ於キマシテハ、先ヅ五十六條ヲ見マスルト「二箇所以上ノ市役所又ハ町村役場ニ於テ戸籍ノ記載ヲ爲スヘキ場合ニ於テハ市役所又ハ町村役場ノ數ト同數ノ届書ヲ提出スルコトヲ要ス」、ソコデ假リニ復籍ヲ拒絶サレテ居ル者ガ死亡シタ時ニハ、死亡届ノ結果トシテハ現在ノ籍即チ縁附イテ居ル所ノ籍カラ、之ヲ除籍スル即チ戸籍ニ記載ヲ爲スト同時ニ、實家ニ於テハ復籍拒絶ノ記載ヲ抹消シナケレバナラス、即チ同時ニ他ノ市町村役場ニ於テ戸籍ニ記載ヲシナケレバナラス、斯ウ云フ場合ニ當ルノデス、ソコデ復籍拒絶ノ記載ガアルト云フコトガ、死亡届ヲスル者ニ分ッテ居レバ、一ツノ届書ヲ出スト云フコトニナル、サウシテ縁附イテ居ル家ノ戸籍ヲ見レバ、其者ハ何處カラ入ッタ者デアアルカ、其實家ガ何處デアアルト云フコトハ、其死亡者ノ戸籍ヲ見レバ直チニ分ルデアリマス、其復籍拒絶ノ記載ガ實家ニ在ルト云フコトガ明カデアレバ、死亡届ヲ一通出シテ、其一通ハ實家ヘ送ル、斯ウ云フコトハ五十六條カラ疑ナク生ズル、所ガ實際ハサウ云フ事ハ起リマスマイガ、若シ復籍拒絶ノ記載ガ實家ノ戸籍ニ現ハレテ居ルト云フコトガ分ラナイ場合、其場合ニナリマス、結局死亡届書ガ一通シカ出ナイ、斯ウ云フコトニナルト思ヒマス、サウシテ實家ノ方ヘ送ルト云フコトハ先ヅシナイ、サウスルト死亡シタニ拘ラズ、實家ノ戸籍ニ於テハ復籍拒絶ノ記載ハ先ヅ消ストガ出來ナイ、斯ウ云フコトニナリマス、唯茲ニ若シ實家ノ戸籍ニ、即チ戸籍役場ニ於テデス、此復籍拒絶ノ記載ノ在ル所ノモノハ既ニ死亡シテ居ルモノデアアルト云フコトガ、或ル關係カラ分レバ、分リマス、今度ハ是ハ其縁附イタ先キノ市町村長ニ照會ヲシテ、死亡届書ヲ謄本ヲ送ラセルト云フコトデ、之ヲ抹消スルコトガ出來ル、或ハ又結局何等ノ届書ヲ爲ス者ガ無イト云フヤウナ場合等ニ於キマシテハ、是ハ職權ヲ以テ抹消スルト云フ特別ノ規定ガ茲ニ働ク、斯ウ云フコトニナルノデゴザイマス、ソコデ若シ死亡届ヲ爲ス者ガ復籍拒絶ノ記載アリト云フコトヲ知ッテ居レバ、何等間達ナク出來マスガ、然ラザル場合ニハ、復籍拒絶ノ記載シテアルコトヲ市町村長ガ知ル時ニ職權ヲ以テ抹消スルト云フ方法モアル、唯殘リマスノハ死亡届出ヲ爲ス者モ知ラズ、復籍拒絶ノ記載アル戸籍ヲ保存シテ居ル戸籍役場モ知ラナイ、ソレカラ實家ノ戸主ニ於テモ之ヲ知ラナイ、誰モ知ル者ガ無イト云フコトニナリマス、致方ガナイノデ、其戸籍ト云フモノハ何時マデモ殘ランケレバナラス、ソコデ一ツ不都合ガ起リマスガ、是ハ職權抹消ノコトヲ設ケマシタコトノ場合ニ付イテモ屢々起ル問題デ、人ガ死亡イタシマス、死亡シテ居ルケレドモ、死亡届ガ全ク無イデ、百五六

十歳ニモ達スルヤウナ者ガ戸籍簿ニ殘ッテ居リマス、ケレドモ居ガ無イ爲ニ抹消スルコトガ出來ナイ、若シ市町村役場ガ其事實ヲ知レバ、今後ノ戸籍法案ノ規定ニ依ルト、職權ヲ以テ抹消スルコトガ出來ル、併シ知ラナイ時ニハ抹消ガ出來ナイ、斯ウ云フ不都合ガイツモ生ジテ來ル、ケレドモ成ルベク戸籍ノ副製ヲシ、再製ヲ致スヤウナ場合ニ於キマシテ、非常ニ年數ガ經テ居リマス、市町村役場ニ於テモ本人ハ死ンデ居ルノデヤナイカト云フ疑フ起スデラウ、其場合ニ市町村役場ニ於テ調査ヲ致シマスレバ、先ヅ或ル程度ノ年限ニ達シタナラバ分ルト云フコトデ、其場合ニ於キマシテハソレヲ消スト云フ途ハ、職權抹消ノ規定ヲ置タ以上ハ出來ル、サウ云フ次第デアリマスカラ、永久戸籍ニ記載ガ殘ルト云フコトハナイ、或ル年限ニ達スレバ抹消サレルデラウ、ケレドモ分ラナイ時ニハ或ル年限ハ事實ニ反シテ復籍拒絶ノ記載アル者ガ活キテ居ルヤウナコトニ、本籍ノ方デハ殘ルヤウナコトガアル、ケレドモ是ハ既ニ二十四條デ、縁附イタ先キノ戸籍ニ復籍拒絶ノコトヲ書カナイト云フ以上ハ、ドウシテモ免レナイコトニナッテ居リマス、ソレデケノ不便ヲ忍ンデアレバ此二十四條ノ規定、其他職權抹消ノ規程等ニ依テ先ヅ満足シヤウト云フノデ、此案ヲ立テ次第デアリマス

○河村讓三郎君　モウ一ツ簡單ニ伺ヒマス、百五十年モ經ッたら、職權抹消ヲシテシマウト云フコトデス、ソレハワレデ宜カラウト思ヒマスガ、ソレマデノ間デス、死亡シテ居リマシデモ、實家ノ方ノ戸籍役場ハ死亡ノ事實ヲ知ラナイ、ソレカラ婚家ノ、即チ死亡地ノ戸籍役場デハ實家ノ戸籍ニ復籍拒絶ノ記載アルコトヲ知ラナイ、サウ云フコトハ滅多ニ無カラウト云フ御話デアリマシタガ、ドウモ不備ヲ免レナイト思ヒマス、法律ノ運用上何トカサウ云フコトニ付イテ互ヒノ聯絡ヲ付ケルト云フコトハ出來マセヌデセウカ、例ハ實家ノ方ノ戸籍役場デ、復籍拒絶ノ届ヲシマシタ時分ニ、届書ヲ送ル譯ニハ行キマセヌケレドモ、サウ云フ事實ヲ婚家ノ方ノ戸籍役場ヘ、内通ト云ヒマスカ……報告シテ置ク、サウシテ其報告ヲ取ッテ置テ、戸籍吏ノ取扱ノ注意ニスル、其報告ノアル者ガ死ンダ時ニハ、實家ノ方ニ報告スルト云フヤウナ、運用上差支ナイヤウニナサル御考ハ無イデセウカ

○政府委員(鈴木喜三郎君)　御尤モ御尋デアザイマシテ、本法實施ノ曉ニ於キマシテハ、内訓等ニ依リマシテ其聯絡ヲ取リ積リデアザイマスガ、法ノ上ニ於キマシテハ明文ヲ置カヌデアリマス

○副委員長(松岡康毅君)　御質問ハゴザイマセヌカ、三章中ニ於テ……、ゴザイマセズバ、第四章ニ移リマス、第一節デケニ付イテ先ヅ……

○政府委員(鈴木喜三郎君)　第四章第一節ニ於キマシテ改正ヲ企テマシタノハ、先ヅ第四十四條デゴザイマス、是ハ極ク些細ナ改正デアリマスルガ、四十四條ハ現行法ノ四十二條ニ二項ニ該當スルモノデアザイマシテ、現行法ニハ「所在地ヲ以テ本籍地ト看做ス」ト云フヤウナ文章ニナッテ居リマシタノヲ所在地ニ居出ルコトガ出來ルト云フコトニシテ、尙ホ寄留地モ居出ノ場處ニ差加ヘマシテ、寄留地若クハ所在地何レデモ宜シイト云フコトニ致シタ次第デアリマス、次ハ四十七條デアリマシテ、四十七條ノ二項ニ於キマシテ、居出事件ニ因リ居出事件ノ本人ニ隨ヒテ家ヲ去リ「云々」ト云フ一項デアリマス、四十七條ノ二項ハ現行法ニ依リマス、是ガ如キ記載ハ各處ニ散在シテ居リマシテ、或ハ養子離縁ノ所ニ在リ、或ハ一家創立ノ所ニ在リ、方々ニ之ニ關スル規程ガ散在シテ居ッ

貴族院戸籍法中改正法律案外三件特別委員會議事速記録第一號

タノアリマス、之ヲ此處ニ一箇處ニ纏メテ、他ノ條文ヲ省略シタト、斯ウ云フコトニナツタ次第アリマス、次ハ四十九條ノ一項但書「出生、死亡其他單純ノ事實ニ關スル居出ハ」云々トアリマスガ、此條文ハ新設條文デゴザイマシテ、謂ハユル單純ナル事實デアリマスルナラバ、法定代理人カラ居出シメルニモ及バナイ、本人デモ出來ルト云フコトニナサシメタ次第デゴザイマス、ソレカラ次ハ五十四條デゴザイマス、五十四條ハ現行法ノ五十一條ニ略シテ、該當スル條文デアリマシテ、現行法五十一條ヲ改正シタ次第デゴザイマス、是モ詰リ此ノ一箇條文ヲ設ケマシテ、總テ他ノ各論ニ於テ、居書ニ記載スベキ事項外ニ於テ戸籍ニ記載スベキ事項ヲ明瞭ナラシムル必要アルモノハ、記載セシムルト斯ウ云フヤウナコトニシテ、總テノ場合ニ應用セシムル爲ニ、此處ニ總則ニ設ケタ次第アリマス、ソレカラ次ハ五十五條デゴザイマス、五十五條ハ現行法ノ五十二條ニ該當スル條文デゴザイマシテ、現行法ニ依リマス云フコト、居書ニ用井ル數字ハ壹貳參拾ト云フムツカシイ字ヲ用井ナケレバナラヌヤウニナツテ居リマスガ、是ハ徒ニ煩雜ニ流ルルニ過ギナイコトデアルカラ、戸籍ノ方ニ記載スルニハ正確ニ、後ノ誤ヲ避ケムカ爲ニムツカシイ數字ヲ用井ネバナラヌガ、居書ニハ壹貳參拾ト云フムツカシイ字ヲ用井ナケレバモ宜シト云フ趣意カラシテ、現行法ノ五十二條ヲ改正シタ次第デゴザイマス、次ハ五十八條デゴザイマス、五十八條ノ規定モ現行法ニ矢張り在ルノデゴザイマス、是モ先キホト申上ケマシタ通り、各所ニ散在シテ居ル規定デアリマシテ、各論ニ斯ウ云フ規程ニ付イテ第三者ノ同意ヲ要スルト云フ條文ガアリマスガ、條文ヲ簡略ニスル趣意カラシテ、總テ居出事件ニ付イテ戸主、父母等第三者ノ同意ヲ要スルコトニハ、其ノ書面ヲ添付シナケレバナラヌト云フコトヲ此處ニ纏メタ次第デゴザイマス、趣意ニ於テハ現行法ト變リマセヌガ、唯配列ノ仕方ガ違ッタデケデゴザイマス、ソレカラ次ハ六十二條ハ現行法ノ六十一條ニ該當シマスガ、期間ヲ短縮シタデケデアリマス、現行ノ三箇月間ヲ一箇月ニ直シタノデアリマス、ソレカラ次ハ六十四條デアリマス、六十四條ハ現行法ノ六十三條ニ該當イタシマス、然シテ第二項ヲ新設シタ次第デゴザイマス、第三項ヲ新設シタ理由ハ、先キホト三十九條ヲ述ベマシタトキニ、三十九條ヲ新設シタト云フコトヲ述ベマシタト同理由ニ依ッテ、茲ニ之ヲ準用スルコトニ致シマシタ、ソレカラ次ハ六十五條デゴザイマス、六十五條ハ新設條文デゴザイマシテ、今日ノ取扱ニ於キマシテハ、居書ノ點ニ付テ欠缺ガアリマス、直チニ却下スルト云フヤウナコトガアリマスカラ、假令居書ニ欠缺ガアツテモ、追完ヲサセル途ヲ開キマシテ、居出ニ欠缺ガアル爲ニ、戸籍ニ記載ヲナスコトガ出來ナカタナラバ、追完ノ手續ニ依ッテ記載サレルヤウニシテ、直チニ却下ハサセヌヤウニシマシタ、次ハ六十七條デゴザイマスガ、六十七條ノ二項ハ新設條文デアリマシテ、二十六條ニ於キマシテ居書ノ書類ノ編綴ヲ規定シテ居リマス、其餘ニ依リマス云フコト、戸籍ニ記載スベキ事項ノ居出ニ付キマシテハ、本籍非本籍ニ別チマシテ、直チニ編綴ヲスル、然シテ其ノ居書ハ三十七條ニ依リマシテ區裁判所ニ送付スル、併ナガラ戸籍ニ記載ヲシナイ居書ニ付イテハ當該市町村ニ於テ保存ヲシテ置ク、裁判所ノ方ヘハ送付シナイト云フコトニナツテ居リマス、サウ云フ譯カラシテ、六十七條ニ於キマシテ、二項ハ裁判所ノ方ヘハ既ニ送付シテシマツタモノハ閱覽ヲスルコトハ許サナイ、併ナガラ市町村ニ在ル書類ハ閱覽ヲ許ス、或ハ說明書ヲ請求スルコトヲ許スト、斯ウ云フコトニ新設イタシタ次第デゴザイマス、然シテ裁判所ニ在ル居書

ヲ見セナイト云フコトニ致シマシタノハ、凡ソ戸籍ノ居書ノ閱覽ト云フコトヲ許スト云フコトハ、是ハ戸籍事務デアル、裁判所ハ單ニ戸籍書類ヲ保存シテ居ルニ過ギナイノデアル、シテ見レバ其ノ閱覽ヲ裁判所ニ於テ許スト云フコトハドンナモノデアラウカ、ノミナラス裁判所ニ廻ハッテ來タ書類ヲ、尙ホ裁判所ニ於テ見セルコトニスレバ、非常ナル手數ガ殖エマシテ、矢張り書記ノ増員ト云フヤウナコトニナリハシマイカ、而カモ現行法ニ於テモ、裁判所ニ保存シテ居ル所ノ裁判所ノ書類ハ閱覽ヲ許シテ居ナイト云フヤウナ趣意カラシテ、六十七條ハ裁判所ニ廻ッテ來タ書類ハ最早見セナイ、戸籍役場ニ在ル書類ダケヲ見セルト云フ工合ニ規定シタ次第デゴザイマス、然ルニ此章ノ第一節ニ於キマシテ衆議院デ修正ヲ加ヘマシタ點ハ六十七條……此點デゴザリマスルカラ、先ヅ説明ノ序デト致シマシテ、先ヅ六十七條カラ申上ケマスルガ、衆議院ノ修正ニ依リマスルト、六十七條ノ二項ノ二十六條「第二項」ト云フコトヲ削リマシテ、二十六條ノ書類ハ全部閱覽ヲ許スト、即チ戸籍ニ登録シタル事件ノ居書ガ未ダ裁判所ノ方ヘ廻ラナイ間……先ヅ一箇月デスナ、廻ラナイ間ト云フモノハ市町村役場デ見セル、ソレカラ戸籍ニ記載ヲ要セザル居書ト云フモノハ、イツマデモ役場ニ在ルノデアルカラ、ソレハ役場デ見セル、シテ見レバ二十六條ハ一項二項共ニ市町村役場デ見セルト云フコトニスル、而カモ又第四項ヲ設ケマシテ、二十七條ニ依ッテ裁判所ノ方ヘ送付シタ後ト雖モ、特別ノ理由ヲ以テ申出デタ場合ニ於テハ、書類ノ閱覽ヲ裁判所ヘ請求スルコトガ出來ルト云フコトニ修正ヲ致シマシテ、政府モ同意イタシタ次第デゴザイマス、ソレハドウ云フ譯カラシテ、此修正ガ出タカト申シマスルト、役場ニ在ル間ハ書類ハ閱覽ガ出來テ、裁判所ノ方ヘ廻ッテシマツタ後ニハ、書類ノ閱覽ガ出來ナイト云フコトニナルト、實際上大ニ困ルコトガアル、例ヘバ偽造ノ居出等ヲサレタ場合ニ、其居書ノ元ヲ見ルコトガ出來ナイト云フコト、誰ガ偽造シタノデアルカ、ドウ云フ居出ヲシタノデアルカ、ソレヲ知ルコトガ出來ナイ、又或ハ戸籍ノ閱覽ヲシ、或ハ戸籍ノ謄本ヲ得テ見ルト云フコト、自分ノ居ケタトハ違フ記載ガアル、自分ノ居出ガ間違ッタノデアラウカ、但シハ戸籍吏ノ記載ガ間違ッタノデアラウカト云フコトニ付イテ詮索スルノニ、居書ヲ見ルコトガ出來ナイト云フコトニナレバ、ソレヲ正スニ由ナイコトニナル、ソレデアアルカラ、イツマデモ此居書ト云フモノハ見ル必要ガアル、斯ウ云フ理由ニ依ッテ衆議院ハ修正ヲ加ヘタ次第デアリマス、尤モト思ヒマシテ政府ハ同意ヲ致シマシタ、ソレカラ次ハ四十七條ニ修正ガ有ルノデゴザイマス、其四十七條ノ四號ヲ削リマシタ、即チ「居出人、居出事件ノ本人及其本人ノ父母ノ職業」ト云フコトヲ、此處ニ原案ハ概括ノ規定シテ置キマシタケレドモガ、或ル者ニ依ッテハ此居出人、居出事件ノ本人若クハ父母ノ職業ヲ知ルノ必要ガ無イ場合ガアル、或ル者ニ付イテハ是等ノ者ノ職業ヲ知ル必要ガ有ルケレドモガ、或ル事件ニ付イテハ必シモ是等ノ人々ノ職業ヲ知ル必要ガ無イコトガアル、シテ見レバ此處ニ總論ニ規定スルヨリハ、寧ろ各論ニ於テ其必要アルデケノ職業ヲ居出セシムルト云フコトノ方ガ、實際上簡便デハナカラウカト云フコトノ理由ノ下ニ於キマシテ、此處ニ職業ヲ削リマシテ、其代リ後ノ各論ニ至リマシテ、必要ト認メマシタル死亡、出生、養子縁組、離婚、離縁ト云フヤウナ所ニ職業ヲ記載セシムルト云フコトニ改マツタノデゴザイマス

○伯爵柳澤保惠君 此四十六條「居出ハ書面又ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得」、

是ハ現行法ニハ口頭ヲ以テ居出ルトキハ正當ノ理由アルトキニ限ルトアリマス、然ルニ此方ニ依リマス、ドチラデモ宜イ、書面デモ宜ケレバ口頭デモ宜イト云フコトニナツテ居リマスガ、是ハ御取扱上餘ホド御不便ナコト、考ヘマスガ、是デ差支ナイノデアリマス

○政府委員(鈴木喜三郎君) 今日ニ於キマシテモ、此東京市内ノ戸籍役場等ニ於キマシテハ、口頭居出ラシテ書記ガ書面ヲ作ツケレテ、サウシテ自分ハ判ヲ捺スト云フダケノコトニ取扱テ居ルヤウニナツテ居リマス、斯カル改正ヲ企テマシタ所ガ、別段不便ナコトハナカラウト思フノデアリマス

○河村讓三郎君 チョット唯今ノニ牽聯シテ伺ヒマスガ、事柄ニ依リマシテ、是非本人ガ出頭イタシマセヌケレバナラヌト云フ時ニハ、特ニ其居出ヲ書面ヲ以テセニヤアナラヌト云フ規定ハ別ニ無カッタノデアリマス

○政府委員(鈴木喜三郎君) 本人自身が爲サナケレバナラヌト云フ行爲ノ場合デスカ……其場合ニ於キマシテモ、矢張り書面デモ宜シ、口頭デモ宜イノデゴザイマス

○河村讓三郎君 代人ニ付イテノ規定ハアリマスガ

○政府委員(鈴木喜三郎君) 代理人ノ事ニ付イテハ別ニ規定ガゴザイマス

○伯爵柳澤保惠君 六十一條デゴザイマス、此六十一條ハ現行法ノ六十條ニ當リマスガ、第一項ノ方デハ「一个月以内ニ」トゴザイマス、是ハ現行ハ「二个月内ニ」トアリマス、是ハ私モ差支ナイト思ヒマスガ、第二項ニ至ツテハ現行法ガ「日本ノ公使又ハ領事ガ其國ニ駐在セサルトキハ本人歸國ノ後一个月以内ニ」トアリマス、所ガ改正法案ニハ「本人歸國ノ後」ト云フコトガ削リテ「唯一」トアリマス、是ハ大使公使或ハ領事ガ居ラヌ所ノ國デアリマスカラ、餘ホド便利ナ國カ、或ハ餘ホド不便ナ、斯様ナ所ニハ外交官或ハ領事官ヲ置ク必要ヲ認メナイト云フ所ニ限ル場合デアリマス、サウ云フ場合ニ拘ラズ、本人歸國ノ後」ト云フコトヲ御削リナツタノハドウ云フ譯デアリマスガ

○政府委員(鈴木喜三郎君) 是ハ一箇月ノ後其土地ノ市町村長ニ發送スレバ宜イト云フコトニ致シマシテ、別段歸國シテカラ居出デルト云フコトデゴザイマセヌカラ、是デ宜シイ積リデアリマス

○伯爵柳澤保惠君 サウ致シマス、實際日本ニ居キマスノハ二月ニナラウガ四月ニナラウガ、兎ニ角當人ガ其事故ノ起ツタ時カラ一箇月以内ニ居ケレバ宜イト云フノデスカ

○政府委員(鈴木喜三郎君) 其通りデゴザイマス

○富井政章君 此六十七條ニ於ケル衆議院ノ修正ハ、衆議院ノ修正中一番大キナ修正デアルト思フノデアリマスガ、成ルホド或ル稀ナ場合ニハ一旦裁判所ヘ送ラレタ書類ヲ戻スノ必要ナコトモアラウト思フノデアリマスガ、事務ノ方カラ言ヘバ、餘ホド煩ハシイコトデハナイカト思フノデス、矢張り裁判所ニモサウ云フ係ヲ置テ、此コトガ運ブヤウニシテヤラヌナリマセヌガ、サウ云フコトガ格別煩ヒモナク出來ルト云フ御考デアリマセウカ、今一ツハ特別ノ理由アル場合ニ限ツテアル、其特別ノ理由ガ有ルカ無イカト云フコトハ、ドウシテ判斷スルノデアリマスガ、マア願書ノヤウナモノデモ持ッテ來テ、ソレニドウ云フ譯デ見タイト云フコトガ書イテアレバ、ソレヲ一度出シテ置テ、サウシテ沙汰ヲ待ツト云フヤウナコトニナルノダラウト思フデスガ、書イタモノヲ持ッテ來ニヤナラヌト云フノデモナイノデスカ、唯口デ言フデモ宜イダラウト思フノデスカ、サウスレバ其係ノ者ガドウ云フ必要ガアッテオ前ハ

見タイノデアルカト云ツテ聞糺スヤウナコトラスノデスカ、要スルニ此特別ノ理由ノ有ル無イト云フコトハ、ドウシテ分ルノデアリマスガ、是ハ制限的ニ場合ヲ限リタルノデスカラ範圍ガ限ツテアル、ソレデスカラドウシテモ特別ノ理由アリト云フコトヲ先以テ認メニヤナラヌト思フノデアリマスガ、是ハドウシテ此認定ヲ爲スノデアリマスガ

○政府委員(鈴木喜三郎君) 此裁判所ヘ送付イタシマシタル所ノ居書ヲ總テノ場合ニ於テ見セルト云フコトニナリマス、誠ニ事務ガ繁雜ニナリマシテ、職員増加ト云フヤウナコトニモナリマセウガ、此點ニ付キマシテハ衆議院ニ於キマシテモ特別ノ理由アル場合ニ限ルト云フコトニスルカラ、サホド事務員ハ殖ヘマイ、斯ウ云フコトデゴザイマシテ、成ルホドソレモ御尤トモ信ジマシテ、職員ヲ増スト云フ程ノ事務ハ殖ヘマイト思フノデス、而シテ特別ノ理由アリヤ否ヤト云フコトヲ見マスノニハ、成ルホド困難ノ場合モアリマセウガ、概ネ閱覽申請書ニ其特別ノ理由ヲ記載セシメマシテ、其記載ノ理由ガアッタト認メマスレバ許シテヤル、斯ウ云フコトニ取扱ハウト思フデス

○富井政章君 ソレデハ此細則デ書イタモノヲ出サニヤ行カヌト云フコトニシヤウト云フノデスカ

○政府委員(鈴木喜三郎君) 細則マデニ斯カル場合ガ、特別ノ理由アリトカ何トカ云フ解釋の細則ハ作ラヌ積リデスガ、先ヅ疑ヒデモアツテ問フコトアラバ答ヘル積リデス、申請書ニハ無論書カセル譯デス

○富井政章君 細則ト云フノハ施行細則デスカ、施行細則ニ於テ申請書ヲ出サニヤ行カヌ、ソレニ書カニヤ行カヌト云フコトニスル御考デスカ

○政府委員(鈴木喜三郎君) 先ヅ左様ニナリマス

○副委員長(松岡康毅君) モウゴザイマセヌカ、御質問ガ無クハ第二節ヘ移リマセウ

○政府委員(鈴木喜三郎君) 本節ニ於キマシテ改正ヲ企テマシタルハ、先ヅ七十五條デゴザイマス、此七十五條ノ末項ハ期間短縮ノ問題デゴザイマス、三箇月ヲ一箇月ニ改メマス、ソレカラ七十八條デゴザイマス、此七十八條ハ現行法ノ七十五條ニ該當イタシマス、現行法ニ依リマスルト云フト、棄兒發見者ハ二十四時間内ニ戸籍吏ニ届出ルト云フコトニナツテ居リマスガ、實際ニ於キマシテハ棄兒ヲ發見スレバ先ヅ警察ヘ馳込ムト斯ウ云フノガ、普通ノ状態デアラウト思フノデス、ソコデアリマスルカラ棄兒ヲ發見シタル者、自カラ町村役場ニ申出テモ宜シ、或ハ棄兒發見ノ申告ヲ受ケタル警察官ガ申出テモ宜シ、斯ウ云フコトニ改メマシテ、今日實際ノ状態ニ適合セシメマシタ次第デゴザイマス、而シテ此棄兒發見ニ付キマシテ届出義務ヲ負ハシムルト云フコトハ、聊カ酷ニ失シマスルノデ、ソコデ其届出ト云フコトヲ改メマシテ、申出ト云フコトニシタルデアリマス、從ツテ或ル制裁ヲ課セシメナイ、怠ツタカラト云ツテ制裁ヲ課セシメナイ、斯ウ云フ次第ニナルノデゴザイマス、改正ノ要點ハソレデカデゴザイマシテ、此節ニ向ツテ衆議院ガ修正ヲ加ヘマシタルハ、六十九條ノ二項一號デス、「子ノ名」ト申シマスル所ニ「氏」ヲ入レタノデゴザイマス、是ハ前ノ方ニモゴザイマス、十八條デゴザイマシテ戸籍ノ記載ラスルニ付キマシテハ戸主、前戸主及家族ノ氏名、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデゴザイマス、所ガムヅカシク申シマスルト云フト、氏ハ家ニ附イテ居ルモノデアアル、家ノ氏ヲ稱スル、斯ウ云フヤウナコトニナツテ、氏ト云フモノハ家ノ氏デアルト云フヤウナ、民法カラ申シマスレハ議論

ガアリマセウシ、ソレカラシテ實際ノ手續ニ於キマシテモ、今日取扱ッテ居ル所デ、戸主ノ上ニハ氏ヲ書キマスルガ、家族ノ名前ヲ表示イタシマスル時ニ於テハ一々氏ハ書カヌノデゴザイマス、一番初メノ戸主ノ頭ニ氏ガ書イテアリマスルコト云フト、其家ノ家族ハミンナ同ジ氏デゴザイマスルカラ、殆ド書キマセヌデモ、書イタト同ジヤウナコトニシテ取扱ッテ居ル、シテ見マスレバ家族ノ氏名トアリマシタ所ガ、必シモ氏ト名ト連記的ニ書クト云フ解釋ヲスルニモ及ブマイ、一種ノ氏名ト云フ熟語ニ取リマシテ、氏ト云フコト名ト云フコトニシナクテモ宜シイ、唯名ダケデモ宜カラウト云フ風ニ十八條ヲ解釋スルナラバ、矢張り六十九條ニ於テモ其筆法デ氏名ト書イタ所デ、必シモ一々氏ト名ヲ書カケレバナラヌモノト讀ムコトモアルマイ、サウスレバ體裁上カラ論ジテモ前ノ方ハ氏名トアリ、後ノ方ニ唯名トアルノハ體裁上宜クアルマイカラト云フノデ、此所ヘ氏ト云フモノガ加ハッタ次第デゴザイマス、ソレカラ第四號ニ於キマシテ先キホド申上ゲマシタ職業問題ヲ此所ニ入レマシテゴザイマス、ソレカラ次ハ七十八條ニ於キマシテ棄兒發見ノ場合ニ市町村長ガ出生ノ年月ヲ推定スルト云フコトニ付キマシテ矢張り日ヲ推定スルト云フ事柄モ、矢張り同ジ推定デアルナラ、月ノ推定ヲスルナラバ日ノ推定ヲ、矢張り序ナカラ認メテモ宜イデハナイカ、日ト云フモノハ隨分學校ノ入學時期ナゾニ關係スルコトデアルカラ、矢張り日ト云フコトヲ推定シタ方ガ宜クハナイカト云フノデ、日ト云フモノガ加ハッタ次第デゴザイマス、此點ニ付キマシテハ政府ハ別段異存ハナイ次第デゴザイマス

○伯爵柳澤保惠君 二點ホド伺ヒマスガ、先ヅ初メ伺ヒタイノハ出生ト云フコトデアリマス、是ハ現行法ニモアリマスガ、此出生ト云フ中ニハ生産並ニ死産ガ這入ルノデゴザイマス、ソレヲ伺ヒタイ

○政府委員(鈴木喜三郎君) 是ハ生産ダケデゴザイマス

○伯爵柳澤保惠君 然ラバ死産ノコトハ後ノ死亡ノ所デ伺ヒマス、ソレカラ今ノ六十條ノ五號ガ改正ニナリマシテ、職業ガ這入ッテ居リマスガ、先刻ノ御説明デ伺ヒマスルト、職業ト云フモノハ別ニ戸籍簿ニモ御登載ニナラヌヤウニ伺ヒテ居リマスルカラ、寧ロ不用ノヤウニ考ヘマス、斯ウ云フ所ニ御書キニナリマシテモ、單ニ一片ノ届出ダケデ記載スルノデアリマシテ、將來職業ノ轉換毎ニ記載届ヲサセルノデゴザイマセヌカラ、漠然タル當人ノ申出ノコトガ居ニ現ハレル、ソレデハ一向職業ト云フコトノ效果ガ無イヤウデアリマスカ、ドウ云フ御必要ガアッテ職業ヲ御入レニナッタデゴザイマス

○政府委員(鈴木喜三郎君) 職業問題ニ付キマシテハ大分議論ガゴザイマシテ、職業ト云フモノハ戸籍事務ニ直接ノ關係ハ無イトハ認メマス、サリナガラ戸籍ト云フ事柄ニ付キマシテ、必シモ其潔癖論ヲ以テ身分關係バカリト云フコトニ限ルニモ及ブマイ、國家ノ行政事務ノ上ニ於テ必要アルモノデアルナラバ、ソレモ矢張り戸籍届出ニ記載セシメルモ宜カラウ、斯ウ云フ譯カラ致シマシテ、職業ノ記載ヲ爲サシムルト云フコトニシタノデゴザイマス、而シテ唯今御質問ノ如ク職業ノ轉換ヲシタル場合、其時ニ訂正届ト云フヤウナモノヲスル譯デナイカラシテ、實際ニ於テハ適ハヌコトニナリハセヌカ、斯ウ云フ御尋デアリマスルガ、其通りデゴザイマシテ、其點ハ轉換イタシマシタ場合ニハ知ルコトハ出來ナイ譯ニナリマス、唯出生ノ當時或ハ後ニモイロノアリマスガ、事ノ起リマシタ當時ノ職業、斯ウ云フコトヲ記載セシムルト云フダケデ、先ヅ今日統計局ノ執ッテ居ル統計法

ハサウ云フコトニナッテ居ルカラシテ、是デ宜シイ、斯ウ云フ次第デアルノデゴザイマス

○伯爵柳澤保惠君 サウ致シマスルト、此届出當時ノ職業ダケデ以テ統計局ハ統計ノ方ハ御満足デアルヤウニ伺ヒマシタガ、先刻頂戴シマシタ所ノ本籍身分登記簿ヲ見マスルト、職業ノ欄ニ無職業或ハ營業ト云フコトガゴザイマス、是等ノコトハ多分當局者モ御承知デゴザイマセウガ、甚ダ意味ノ無イ書方デアリマシテ、斯様ナコトノ記載ヲ以テハ統計局ガ決シテ一樣ナル職業トハ認メテ居ヌト思フ、之ヲ以テ到底日本ノ職業ノ分類トハ出來ナイノデアリマス、ソレヲ以テ御必要ダト仰シヤルノハ、是等ノ不満足ナル記載ヲ以テ尙ホ參考ニナルト云フノデゴザイマス

○政府委員(鈴木喜三郎君) 職業問題ニ付キマシテハ統計局長ノ答辯モ衆議院デアッタデゴザイマス、其時ノイロノ質問應答ノ所ヲ見マスルト、現在統計局デヤッテ居ル點モ満足ハ出來ナイ、追々改正ヲシテ行ク必要ガアルノデアル、併ナガラ未ダ完全ナル方法ヲ見出サナイガ、目下攻究調査中デアル、斯ウ云フコトデゴザイマシテ、其中立派ナル方法モ案出セラル、コト、思フノデゴザイマスルガ、今日ノ所ニ於キマシテハ職業ニ致シマシタ所デ、主タル職業ガアルシ、主タル職業ガアリマシテ、一々ソレヲ書カセルト云フコトデアリマセヌガ、自カラ重モナル職業トシテ執ッテ居ルモノヲ記載シテ來ル位ノモノデアラウト思フ、而シテ届出人ガ記載シテ來マシタ所ノ職業ガ事實デアルカ、事實デナイカト云フマデハ、戸籍吏ニ於テ調査ハ致シマセヌノデゴザイマスルカラ、或ハ事實ニ符合セヌト云フヤウナコトガアルカモ知レマセヌ

○伯爵柳澤保惠君 ソレハ若シモ次ノ委員會ニデモ説明員トシテ當局者ガ御出ニナリマスレバ、伺ヒタイと思ッテ居リマスガ、其點ニ付イテハ司法當局者ヲ御煩シヲ致シマセヌ、次ニ伺ヒタイノハ出生ト云フコトノ中ニハ生産バカリデアルト云フコトデアリマシタガ、是ハ後ニ伺ヒテモ宜シイノデアリマスガ、聯關シテ居リマスルカラ、伺フ方ガ便利ト考ヘマス、死亡ノ所ニハ死産ノコトハナイノデゴザイマスガ、死産ト云フコトハ何處ニ一體這入ルノデゴザイマス

○政府委員(鈴木喜三郎君) 死産ニナリマスレバ謂ハユル人格ヲ有タヌモノデゴザイマス

○伯爵柳澤保惠君 明治三十一年ノ内閣ノ訓令ニ依リマスルト出生、死亡、離婚、婚姻、死産此五ツノ材料ヲ採ッテ居ルノデアリマス、サウスルト此戸籍簿ニ届出人ガ死産ノ場合ヲ居ケルコトハ將來御見込ニナラヌト云フノデアリマスガ、少シ分リマセヌガ……

○政府委員(鈴木喜三郎君) 此警察ノ取締カラ申シマスレバ、サウ云フコトモアリマセウガ、戸籍ノ取扱致シマシテハ死産ノ届出ハ今マデモ無イノデゴザイマス、戸籍事務トシテハ戸籍ノ届出、身分ノ届出トシテハ死産ノ届出ト云フモノハ戸籍吏ガ取扱ッテ居リマセヌ

○伯爵柳澤保惠君 死産ノ材料ハ警察ノ材料カラ採ッテ居ルノデゴザイマセヌ、皆市町村ノ役場カラ採ッテ居ルノデアリマス、御返辭ガ分リマセヌガ、詳細ノコトハソレデハ又當局者ニデモ伺フコトニ致シマセウ、ソレカラ棄兒ノコトデ、今度衆議院ノ修正ニ出生ノ年月日ノゴザイマスガ、年ハ大抵見當ガ付キマセウ、又月モナカノ、困難デアリマセウガ、大體付キマセウ、日ニ付テハ見當ガ付カヌコトデアリマシテ、無理ナル修正デアリマス

ガ、御同意ニナツタノガ更ニ分リマセヌ

○説明員(山内確三郎君) 御尤モ御質問アリマシテ、年月ノ推定ハアリマス、併ナガラ現行法ノヤウニ、推定ノ年月ト限リテ置キマス云フト、能ク棄兒ナガハ出生年月日ノ札ガ附イテ居ル、是ガ果シテ立派ナ出生ノ年月日デアルカ、ドウカ分リマセヌガ、免ニ角札ニ於テ凡ソノ日ガ推定ガ付クモノトシテ、年月日ガ書イテアルトキニハ、サウ云フヤウナ明カナル場合ニハ……明カデモアリマセヌガ……明カニ推定ガ付ク場合ニ於テハ、日モ書ク方ガ必要デアラウト思ヒマス、全ク日ノ推定ガ出来ナイトキハ、何デモ彼デモ日ヲ書ケト云フノデアリマセヌ、又月ノ推定モ出来ナイト云フコトニナレバ、ソレモ書クコトハ必要デアルマイ、斯ウ云フ風ニ解釋スル積リデアリマス

○伯爵寺島誠一郎君 是ハ強ヒテ御尋ラシナクテモ或ハ宜イカモ知レナイノデアリマスケレドモ、七十八條ノ棄兒ノコトニ付キマシテ市町村長ハ氏名ヲ命ズト云フコトガゴザイマスガ、是ハ私ハ自分ガ信ズル譯デゴザイマセヌガ、世間デハ命名ト云フコトハ非常ニ大切ニナツテ居リマシテ、例ヘバ石川五右衛門ト云フ風ナ名ヲ付ケルト大盜賊ニナルトカ、又安田善次郎ト云フ名ヲ付ケマスルト、生レナガラニシテ富豪ニナルト云フヤウニナツテ居リマシテ、命名ト云フコトハ非常ニ喧マシク云ヒマシテ、或ハ東洋姓名學院トカナカノ世間デハ研究シテ居ルノデアリマス、サウ云フ風デアリマシテ、ナカノ重イ責任ヲ市町村長ニ持タセ、ソコデ例ヘバ雪ノ降ッタ日ニ松ノ木ノ下ニ女ノ子ガ棄テ、アッタ、サウスレバ松下雪ト付ケルトカ、何トカ云フコトデアリマセウカ、姓名ハドウ云フ風ノ御考デ當局者ハ居ラレマセウカ、サウ云フ責任ヲ市町村長ニ持タセモノデアリマス、ドンナ風デアリマス

○説明員(山内確三郎君) 是ハ棄兒ノコトデゴザイマスカラ、先ヅ父母ハ分ラナイモノデアル、又姻戚モ無イヤウナモノデ、誰カ名ヲ付ケナケレバナラス、戸籍ニ其人ヲ公示スル人間ガ無イカラ、氏名ト云フモノハ戸籍吏ニ命ゼシムルコトニナツテ居リマシテ、其名ノ付ケ方ハ矢張り市町村長ガ然ルベク良イ名ヲ撰ンデ付ケルコトニナルデラウ、斯ウ考ヘテ居リマス

○副委員長(松岡康毅君) 別ニ御質問ハゴザイマセヌカ

○富井政章君 此七十八條ノ一項ハ餘ホド文字ヲ儉約シテアルト思フノデアリマス「棄兒ヲ發見シタル者又ハ棄兒發見ノ申告ヲ受ケタル警察官ハ」ドチラデモ宜イト斯ウ云フ書キ方デアルノデスガ、其趣意ハ棄兒ヲ發見シタル者ハ、警察官カ市町村長カドチラカニ知ラセナケレバナラスト云フコトガ先ヅアッテ、ソレカラ警察官ニ申告シタル場合ニハ、ソレデ發見者ノ方ノ責任ハ解ケテシマフ、今度ハ警察官ガシテモナクモ宜イト云フノデナシニ、市町村長ニ申出ヲサネバナラナイ、其場合ニハ發見者ハ責任ハ無クナツテ警察官ハ是非トモ市町村長ニ申出ヲサネバナラス、斯ウ云フ趣意デラウト思ヒマスガ、念ノ爲メ伺ッテ置キマス「又ハ」デハ餘ホド文字ヲ儉約シテアッテ、不明瞭デアルト思フノデアリマス

○政府委員(鈴木喜三郎君) 御質問ノ通りデゴザイマス

○奥山政敬君 今七十八條ニ付イテ富井君カラ質問ガアリマシタガ、政府委員デハ其通りト云フコトデアリマシタガ、ナカノ一ハ解釋ガ餘ホドムカシイモノ、ヤウニ思ハレマス

ガ、皆サンサウ云フコトニ是ハイキナリ讀メルデセウカ

○政府委員(小山溫君) 七十八條ヲ御心配ノヤウデゴザイマスルガ、是ハ「申出ツルコトヲ要ス」ト云フ方デ「届出ツルコトヲ要ス」トハ違ヒマス制裁ハ無イノデアリマス、ドッチニ致シテモ大シタコトハ無イノデアリマス、警察官デアリマス、是ハ職務トシテ職責ノ方カラ責メラレマスガ、通常ノ人間ハサウ云フ責ハ無イ譯デアリマスカラ、是デユトリガ付クデラウ、斯ウ云フ考ヲ有シテ居リマス

○副委員長(松岡康毅君) モウ御質問ハゴザイマセヌカ、ゴザイマセヌバ次ハ三節ト四節ト一緒ニ致シマス、短カウゴザイマスカラ……

○政府委員(鈴木喜三郎君) 二節ニ付キマシテ改正ヲ致シマシタノハ、八十三條デゴザイマス、從來此私生子ノ認知ヲ致シマスニ付キマシテハ私生子届ト云フコトヲシタノデアリマス、所ガ其私生子ヲ認知シテ始メテ庶子ト云フコトニ改メ、斯ウ云フ二段ノ手續ニナツテ居ッタノデアリマスガ、未ダ何等届出ノ無イ、私生子ノ届出ノ無イモノヲ父ガ認メテ此庶子出生ノ届出ヲ爲ス、庶子出生ノ届出ヲ爲セバ、取リモ直サズ自分ノ子デアルト云フコトヲ認知シタノニ外ナラスノデアリマスカラ、庶子出生届ト云フ一本ノ届出ニ由ッテ出生届ト、ソレカラ認知届ノ二ツノ效力ヲ生ゼシムルト云フ事柄ハ、誠ニ實際上便利デアラウト云フ趣意カラ致シマシテ、八十三條ヲ設ケマシテ、父ガ庶子出生ノ届出ヲ爲シタナラバ、其出生届ヲ以テ認知届ノ效力ヲ付與スル、斯ウ云フコトニ致シテ、以テ手續ヲ簡略ニ致シマシタ次第デゴザイマス、ソレカラ次ハ八十四條デゴザイマスルガ、是ハ認知ノ裁判ガ確定イタシマシタル場合ハ、訴ヲ提起シタモノカラシテ謄本ヲ添附シテ、矢張り届出ヲ爲サシメルト云フ條文ヲ舉ゲマシタ次第デゴザイマス、ソレカラ次ハ八十七條、八十七條ニ於キマシテ此認知ト申シマスル行爲ハ認知者自カラノ行爲デゴザイマスカラシテ、認知ヲ届出デマスルニ付キマシテハ、代人ヲ許サヌ、即チ五十七條ノ三項ヲ適用シナイ、自身デ届出ナケレバナラス、斯ウ云フ趣意ヲ茲ニ明カニ致シマシタ次第デゴザイマス、ソレカラ第四節ニ於キマシテハ九十三條ニ於キマシテ、是ハ現行法ノ九十二條ノ改正ヲ致シマシタ要旨デゴザイマス、ソレカラ此二節四節ニ於キマシテ、衆議院ガ修正ヲ加ヘマシタノハ、八十一條ノ二ニ於キマシテ職業ヲ入レマシタコト、ソレカラ八十八條ニモ職業ヲ入レマシタコト、ソレデケデゴザイマス

○副委員長(松岡康毅君) 御質問ガゴザイマセヌカ、御質問ガゴザイマセヌバ五節、六節、七節……

○政府委員(鈴木喜三郎君) 五節ニ於キマシテハ、九十五條ノ五號デゴザイマス、是ハ現行法ノ矢張り九十五條デゴザイマスルガ、五號ノ養子ガ一家ヲ創立スルトキハ其旨及創立ノ原因竝ニ場所、斯ウ云フコトヲ入レマシテ、以テ養子ガ離縁ニナリマシテ、先キホド申上ゲマシタ此復籍拒絶ヲサレテ居ルヤウナ場合ニ一家ヲ創立スルトキニハ、其事ヲ記載セシメヤウト云フ、斯ウ云フヤウニシマシテ、茲ニ此號ヲ設ケタ次第デアリマス、ソレカラ六節ノ百條ニ於キマシテ、百條ノ五號デゴザイマス、五號ハ是モ現行法ノ百二條ニ該當シマシテ「入夫婚姻ノ場合ニ於テ入夫カ戸主トナラサルトキハ其旨」ト斯ウナツテ居リマス、今度ハ其反對ニ「入夫婚姻ノ場合ニ於テ入夫カ戸主トナラサルトキハ其旨」ト、斯

ウ云フコトニ改メマシテ、其次第八入夫婚姻ヲ致シマシテ、反對ノ意見ヲ表示シマセヌケレバ、入夫ガ當然戸主トナルノアリマス、ソレデアリマスカラシテ戸主トナルト云フコトヲ此入夫婚姻ニ記載イタシマス云フコト、之ニ依ッテ直チニ家督相續ノ届出ニ代リマシテ、新戸籍ヲ編製スルコト云フコトノ便法ヲ開ク爲ニ、入夫ガ戸主トナリタル時ハ、其旨ヲ婚姻届ニ記載セシメマシテ以テ家督相續ノ届出ヲ省クト、斯ウ云フ趣意ニ致シタ次第デアリマス、ソレハ此家督相續ノ節ニ於キマシテ百二十五條ト御對照クダサレバ分リマスガ、百二十五條ノ一項ノ但書ニ「入夫婚姻ニ因リテ戸主トナリタル者ハ此限ニ在ラス」ト規定イタシマシテ、以テ入夫婚姻ニ因テ入夫ガ戸主トナレバ、婚姻届ノミニ依ッテ事ヲ濟マシテ、更ニ家督相續届ヲ爲サシムルニ及バヌ、斯ウ云フコトニシテ次第デアリマス、第七節ニ於キマシテハ、先キホド養子ノ九十五條ノ五ヲ説明申上ゲマシタ同ジク、百四條ノ五號ト同ジ規定ヲ立テマシタ次第デアリマス、其他ニハ現行法ニ改正ヲ加ヘマシタモノハゴザイマセヌ、以上ノ二節ニ向ッテ衆議院ガ修正ヲ致シマシタノハ、九十五條ノ「職業ヲ入レタト云フコト」、百條ノ「職業ヲ入レタト云フコト」、百四條ノ「職業ヲ入レタト云フコト」、是ダケデゴザイマス

○富井政章君 小サナ事デアリマスガ、九十五條ノ「場所」ト云フ言葉ガアリマス、此言葉ハ九十二條其他ニモアルヤデスガ、現行法ニハ確カスウ云フ時ニハ「地」ト云フ字ガ使ッテアッタと思ヒマスガ、此「場所」ト云フ言葉ハドレ程ノ事ヲ書カンナンノデゴザイマス

○政府委員(鈴木喜三郎君) 御尋ノ如ク現行法ニハ「地」ト云フコトニナッテ居リマスガ、勿論「地」ト云フコトノ解釋ハ最少行政区畫トスウ云フ風ニ解釋シテ居リマスカラ、若シ單ニ茲ニ「地」ト云フコトヲ書キマス、例ヘバ東京市、横濱市ト云フコトニナリ、東京市麹町區一丁目一番地ト記載シナイヤウニ解釋セラレル虞ガアル、ソレ故ニ「場所」ト書キマス云フト、本籍ノ存在スル此ノ場所トシテ表示シマスニハ、東京市麹町區一丁目一番地ト云フコトヲ表示セシメル所カラ、此「場所」ト云フ文字ヲ用井タノデアリマス

○副委員長(松岡康毅君) 御質問ガゴザイマセバ、次ニ移リマシテ、八節、九節、十節マデ……

○政府委員(鈴木喜三郎君) 第八節ニ於キマシテ、此百七條、百八條、此二箇條ガ新設條文ニナルノデゴザイマス、現行法ハ後見ナル所ノ法定代理人ハカリノ規定ガゴザイマシテ、親權者トシテ代表スル場合ノ事柄ガ戸籍ノ記載ノ上ニ無イノデゴザイマス、所ガ後見人ヲ戸籍ノ上ニ既ニ記載セシムル必要ガゴザイマスレバ、矢張り親權ノ場合ニ於キマシテモ御承知ノ如ク父親權ヲ行ハザルトキハ母親權ヲ行フト斯ウ云フコトニナルノデゴザイマスカラ、父ノ親權ヲ行ッテ居ル場合デゴザイマスレバ、強チ公示スル必要モゴザイマセヌガ、母ガ親權者アル場合ニ於テハ公示シテ置ク必要ガアルノデゴザイマス、ソコカラ致シマシテ、父親權ヲ失ヒ或ハ監理權ヲ失ッタ場合ニ於テハ母ガ親權者ニナッタルコトヲ公示スル必要カラ致シマシテ、茲ニ百七條、百八條ノ規定ヲ設ケマシタ次第デアリマス、ソレカラ百十四條デゴザイマス、是ハ先キホド申上ゲマシタ保佐人ノ規定ヲ置キマシタ關係カラ致シマシテ、此百十四條ヲ當然ノ結果新設スルノ必要ヲ見ルニ至ッ

タ次第デアリマス、九節ニ於キマシテハ改正ヲ致シマシタコトハゴザイマセヌ、十節ニ於キマシテ百十九條デス、百十九條ハ現行法ノ百三十一條ニ該當スルノデゴザイマシテ、現行法ニ依リマスレバ、單リ艦船ノ難破ノ場合ノミ切リテ規定ガゴザイマセヌ、所ガ單リ此艦船ノ難破バカリデ無ク、火災モアラウシ、或ハ震災等ニ依ッテ死亡シタヤウナ場合ニ、報告ニ基イテ戸籍ニ記載ヲナサシムル必要ヲ感シマシテ、百十九條ノ改正ヲ爲スニ至ッタ次第デアリマス、次ハ百二十四條デゴザイマスガ、此百二十四條ハ現行法ノ百二十二條ニ該當イタシマス、現行法ノ百二十二條ノ一號ニ依リマス云フト、「失踪ノアリタル年月日」、斯ウ云フコトニナッテ居リマスノヲ改メマシテ「民法第三十條ニ定メタル期間満了ノ日」、斯ウ云フコトニ致シマシタノハ御承知ノ如ク、失踪ノ宣告ノ日ト云フモノヲ知ルノハ、サホド必要ハ無イノデゴザイマシテ、却ッテ期間満了ノ日、即チ十箇年トカ、七箇年トカ、三箇年トカ云フ期間満了ノ日ガ死亡ノ推定ヲ爲ス日デゴザイマスカラ、此日ハ最も死亡ノ日ニ該當スルモノデゴザイマス、故ニ此失踪ノ日トアリマスノヲ改メマシテ「二十條ニ定メタル期間満了ノ日」ト致シマシタル次第デアリマス、以上ガ現行法ヲ修正イタシマシタル點デゴザイマシテ、此八節九節十節ニ向ヒマシテ、衆議院ガ修正ヲ加ヘマシタノハ百十六條ニ於キマシテ矢張り職業ヲ入レマシタデゴザイマス、ソレカラモウ一ツ此死亡ノ届出期間ニ付キマシテ案ハ「五日」トアリマスノヲ衆議院「七日」ト修正イタシマシタ、是ハ死亡ニ依ッテ家内ガ混雜ヲシテ居ルノデアルカラ、五日ノ間ニ届出サスト云フコトハ誠ニ困リハシナイカ、七日位ハセメテ置カナケレバナラヌト云フ議論カラ、七日ト云フ修正ニナリマシタ、政府ニ於キマシテハ一日ヤ二日ノ所ハ差支ゴザイマセヌカラ、別段異存ハ無イノデゴザイマス

○副委員長(松岡康毅君) チョット御相談イタシマスガ、ナカノ運ビハ宜シウゴザイマスガ、餘リ歩キ過ルノモ草臥レルダラウト思ヒマスカラ、今日ハ是クラ井ニシテ、モウ一日質問ヲシテ、サウシテ都合次第、議決ノ運ビニ致シマシタラバ、如何デゴザイマス

〔至極宜シイと思ヒマス〕〔上述フル者アリ〕

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副委員長(松岡康毅君) ソレデハ今日ハ是デ……

○奥山政敬君 今日ハ柳澤伯ガ御出ニナリマシテ此戸籍法ニ付イテいろ／＼御質問ガアルサウデアリマシタガ、尙ホ此後ノ委員會ニ出ラレマシテ、いろ／＼ナコトヲ承リタイト云フコトデアアルサウデゴザイマス、ソレニ付キマシテ此統計上ニ付キマシテ餘ホド御必要ヲ御感ジニナッテ居ルヤウデゴザイマス、ソレデ統計局長ヲ次ノ委員會ニ御呼ビニナッテ、サウシテ説明ヲ聞キタイ御希望ノヤウニ承ッテ居リマスガ、御差支ガナケレバサウ云フ御手續ニ願ヒタイと思ヒマス、皆サンニ御異議ガ無ケレバドウツサウ云フヤウニ願ヒタイと思ヒマス

〔賛成ト呼フ者アリ〕

○伯爵柳澤保惠君 唯今奥山君ヨリ御願ヒクダサイマシテ、誠ニ難有ウゴザイマス、實ハ衆議院ノ速記録ヲ見マシテ統計局長ノ答ガアリマスガ、ドウモ問フモノガ十分ニ問フデゴザイマセヌ、已ムヲ得ズモウ少シ伺ヒタイノデアリマスカラ、ドウツ御了承ヲ願ヒマス

○副委員長(松岡康毅君) ソレデハ明日午前十時カラ引續イテ開キマスカラ、其御  
積リデ……

午後三時十分散會

出席者左ノ如シ

副委員長 松岡 康毅君

委員

伯爵寺島誠一郎君

子爵岡部 長職君

子爵酒井 忠亮君

山脇 玄君

河村讓三郎君

奥山 政敬君

富井 政章君

加太 邦憲君

安廣伴一郎君

田島竹之助君

委員ニアラスシテ出席シタル者

伯爵柳澤 保惠君

國務大臣

司法大臣 奥田 義人君

政府委員

司法次官 小山 溫君

司法省法務局長 鈴木喜三郎君

説明員

司法省參事官 山内確三郎君

大正三年三月十八日印刷

大正三年三月十九日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局